

小山市経済動向実態調査

(平成 29 年度最終報告書)

平成 30 年 3 月

小山市産業観光部商業観光課委託

白鷗大学ビジネス開発研究所

小山市経済動向実態調査
(平成 29 年度最終報告書)

目 次

要 旨	1 頁
I. 小山市景気動向アンケート調査結果 (平成 29 年度第 2 回)	3 頁
1. 調査の目的	3 頁
2. 調査対象・調査内容	3 頁
3. 調査結果	6 頁
II. 小山市経済動向ヒアリング	2 3 頁
III. まとめ	2 7 頁
(参考資料)	
1. 小山市景気動向アンケート調査票 (平成 29 年度第 2 回)	2 9 頁
2. 小山市景気動向アンケート調査 (平成 29 年度第 2 回) の回答一覧	3 3 頁
3. 小山市景気動向アンケート調査 (時系列データ)	5 2 頁

小山市経済動向実態調査プロジェクトメンバー

白鷗大学経営学部教授・ビジネス開発研究所長	吉川 薫
白鷗大学総合研究所研究員	鄭 安君
	(平成 29 年 11 月まで)
白鷗大学ビジネス開発研究所担当職員	櫻庭 律子
	(平成 29 年 12 月から)
(協力) 白鷗大学経営学部教授・ビジネス開発研究所運営委員	小笠原 伸

小山市経済動向実態調査 (平成 29 年度最終報告書)

平成 30 年 3 月
白鷗大学ビジネス開発研究所

白鷗大学ビジネス開発研究所では、小山市産業観光部商業観光課からの委託を受けて小山市の消費面を中心に経済動向を把握するため、平成 14 年度以降小山市経済動向実態調査を実施している。平成 29 年度小山市経済動向実態調査では、小山市景気動向アンケート調査 2 回（6 月と 12 月）とヒアリング調査（2 月）を実施した。本報告書は平成 29 年度小山市景気動向アンケート調査（第 2 回）の結果とヒアリング調査の結果をまとめた平成 29 年度小山市経済動向実態調査最終報告書である。

要 旨

平成 29 年 12 月から平成 30 年 1 月にかけて実施した「小山市景気動向アンケート調査（平成 29 年度第 2 回）」の結果をみると、平成 29 年下半年期の小山市の景気の現状（水準）をきいた質問の回答では、「やや良い」が増加し、「やや悪い」が減少したことなどから、D I 値¹では 54.7%と前回調査(平成 29 年 6 月、以下同じ)の 47.3%から上昇し、4 期ぶりに 50%を超えた。一方、景気の変化方向をきいた質問では、平成 29 年下半年期（7～12 月期）の景気は、平成 29 年上半年期（1～6 月期）と比較して「やや良くなっている」が増加し、「やや悪くなっている」が減少したことなどから、D I 値では 57.5%と前回（47.4%）から上昇し、こちらも 4 期ぶりに 50%を超えた。「やや良くなっている」という回答の理由としては、「若干良くなっている」、「売上高が上昇トレンドにある企業が見受けられる」などがあがっている。「変わらない」という回答の理由としては、「お客様の購買状況に変化がない」、「やや悪くなっている」という回答の理由としては、「成約までの時間が長く、成約率も低下している」などがあがっている。一方、景気の先行き（一期先の見通し）については、前回調査に比べると、「やや良くなる」が増加し、「変わらない」、「やや悪くなる」が減少したことなどから D I 値では 58.1%と前回（50.0%）から上昇し、3 期連続で 50%以上となった。回答の理由としては、「やや良くなる」と回答した企業では、「日経平

¹ 回答 (%) の「良い」を 1、「やや良い」を 0.75、「どちらともいえない」を 0.5、「やや悪い」を 0.25、「悪い」を 0 とし、構成比で加重平均したもの

均株価の上昇、円安等により、企業・個人の収益もさらに増加が期待できる」、「今の状況が引き続くと思われる」などが、「変わらない」と回答した企業では、「勢いがないように思う」、「人手不足により、現状レベルの生産に落ち着く」などがあがっている。一方、「やや悪くなる」と回答した理由では「売上が増えないのに、原材料等が値上がりしている」などがあがっている。

自己の企業や業界の売上金額についての回答をみると、平成 29 年下半期（7～12 月期）は平成 29 年上半期（1～6 月期）に比べ「やや増加した」が増加し、「やや減少した」、「変わらない」が減少したことなどから、D I 値は 51.2%と上昇し、8 期ぶりに 50%を超えた。先行きの業界需要見通しの D I 値は 52.9%と前回（45.7%）から上昇し、3 期ぶりに 50%以上となった。

平成 30 年上半期（1～6 月期）の業界の販売価格の見通しについては、平成 29 年下半期（7～12 月期）に比べて、「変わらない」、「やや低下する」が増加し、「上昇する」、「やや上昇する」が減少したことなどから、D I 値では 51.8%と前回（62.2%）から低下したものの、50%を上回った。平成 30 年上半期（1～6 月期）の雇用見通しについては、平成 29 年下半期（7～12 月期）に比べて、「やや不足」、「横ばい」が増加し、「不足」が減少したことなどから D I 値は 60.5%と前回（62.2%）からやや低下したものの、3 期連続で 60%を超えている。なお、資金繰りの状況については、今回調査では D I 値は 51.3%と前回（D I 値 54.3%）からやや低下した。「やや悪化した」理由としては、「仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化」が多くなっている。

また、平成 29 年度の賃金等の状況をみると、前回調査と比べて「ボーナスの増額」、「定期昇給を実施」、「ボーナス以外の手当の減額」が増加し、「定期給与・ボーナス等の変更なし」は減少した。

今回のアンケート調査で追加質問した「働き方改革」については、実施中の事項として、「長時間労働の是正」が最も多く、次いで「労働生産性の向上」、「賃金引上げ」、「人材育成の充実」となっている。「働き方改革」実施の障害としては、「人手不足」、「人件費等のコストの増加」が多かった。

以上のように、平成 29 年下半期（7～12 月期）の小山市の景況感をみると前回調査に比べ改善がみられ、先行きについても改善が続くとの見方が増加した。ただ、消費面では実質所得の伸びが低いなかで、依然勢いがあるとは言えない。また、実施中の「働き方改革」としては、6 割弱の企業が「長時間労働の是正」をあげており、次いで、「労働生産性の向上」、「賃金引上げ」、「人材育成の充実」と続いている。働き方を見直し、生産性向上を図ることで賃金引上げを実現し、それが持続的な消費の増加に結び付いていくことで景気の改善が持続することが期待される。

I. 小山市景気動向アンケート調査結果（平成 29 年度第 2 回）

1. 調査の目的

小山市景気動向アンケート調査は、小山市の景気動向を把握するため、小山市の流通業、サービス業、製造業などの企業、店舗に対して小山市の景況、各業界の業況等をアンケート形式で調査したものである。

2. 調査対象・調査内容

2-1) 調査対象

平成 29 年 12 月から平成 30 年 1 月にかけて、小山市内の企業² 120 社弱を対象に小山市の景気動向に関するアンケート調査を行い、43 社から回答を得た。回収率は約 36%である。

（回答企業の業種別構成）

（図表 1） 回答企業の業種別構成（ ）内は前回（平成 29 年 6 月）調査

業種	社数	業種	社数
流通業(小売等)	13 社 (13 社)	通信・放送業	1 社 (1 社)
製造業	10 社 (11 社)	不動産・住宅業	3 社 (1 社)
金融・保険業	3 社 (2 社)	サービス業	7 社 (7 社)
運輸業	2 社 (3 社)	印刷業	1 社 (1 社)
ホテル・旅行業	2 社 (3 社)	不明	0 社 (4 社)
飲食業	1 社 (1 社)		
		合計	43 社 (47 社)

前回調査（平成 29 年 6 月）に比べ、

増加した業種：金融・保険業、不動産・住宅業

減少した業種：製造業、運輸業、ホテル・旅行業、不明

² これまで調査に回答していただいた企業を中心に製造業を含め 120 社弱を対象。

(回答企業の従業員規模別の構成)

(図表 2) 回答企業の従業員数

従業員数 (人)	企業数 (社)	構成比%
1～4	6	14 (11、16)
5～9	3	7 (15、12)
10～19	7	16 (9、16)
20～29	3	7 (11、8)
30～49	3	7 (6、2)
50～99	12	28 (21、19)
100 以上	9	21 (17、19)
不明	0	0 (11、8)
計	43	100 (100、100)

(注) 構成比の () 内は左が前回調査 (平成 29 年 6 月)、右が前々回調査 (平成 28 年 12 月) の構成比。(個々の構成比の四捨五入の関係で合計しても 100 にならないことがある。)

前回調査 (平成 29 年 6 月) に比べ、

構成比が 2%ポイント以上上昇した従業員規模: 1～4 人、10～19 人、50～99 人、
100 人以上

構成比が 2%ポイント以上減少した従業員規模: 5～9 人、20～29 人、不明

(回答企業の年間売上高規模別の構成)

(図表 3) 回答企業の売上高

売上高 (円)	企業数 (社)	構成比%
3,000 万未満	4	9 (6、10)
3,000 万～ 1 億未満	6	14 (13、10)
1 億～ 5 億未満	11	26 (21、20)
5 億～10 億未満	6	14 (11、10)
10 億以上	13	30 (21、25)
不明	3	7 (28、25)
計	43	100 (100、100)

(注) 構成比の () 内は左が前回調査 (平成 29 年 6 月)、右が前々回調査 (平成 28 年 12 月) の構成比。(個々の構成比の四捨五入の関係で合計しても 100 にならないことがある。)

前回調査 (平成 29 年 6 月) に比べ、

構成比が 2%ポイント以上上昇した年間売上高規模: 3,000 万円未満、

1～5 億円未満、5～10 億円未満、10 億円以上

構成比が 2%ポイント以上低下した年間売上高規模: 不明

(回答企業の小山市内における売上割合)

(図表 4) 回答企業の小山市内における売上割合

小山市内の売上割合 (%)	企業数	構成比%
80～100	12	28 (28, 29)
60～80	7	16 (13, 22)
40～60	6	14 (11, 10)
20～40	6	14 (17, 10)
0～20	9	21 (23, 22)
不明	3	7 (8, 6)
計	43	100 (100 100)

(注) 構成比の () 内は左が前回調査 (平成 29 年 6 月)、右が前々回調査

(平成 28 年 12 月) の構成比。(個々の構成比の四捨五入の関係で合計が 100 にならないことがある) 小山市内の売上割合が 60%以上の計: 19 社 (44%) (前回調査: 40%)

2-2) 調査内容

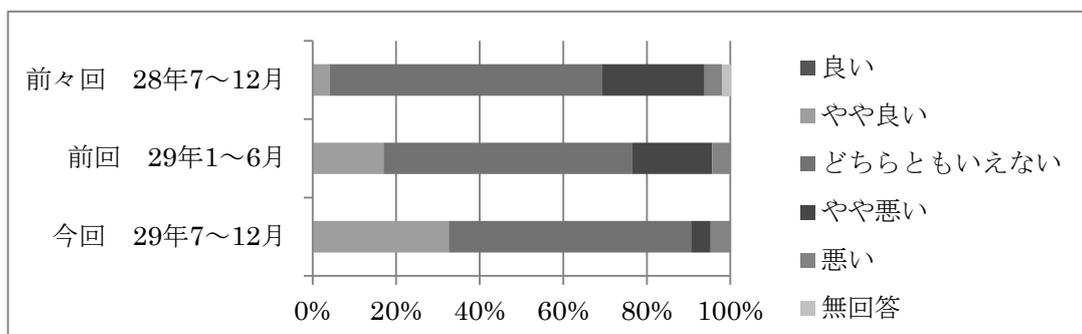
今回の調査項目は、景況感に関わる従来からの質問項目に加え、「働き方改革」に関する質問項目および平成 29 年度の主な従業員の賃金等の状況に関する質問項目からなっている。

- 質問 1 小山市の景気の現状(水準)
- 質問 2 小山市の景気の現状(変化方向)
- 質問 3 質問 2 の回答理由
- 質問 4 小山市の景気の先行き見通し
- 質問 5 質問 4 の回答理由
- 質問 6 業界の売上(需要)の変化
- 質問 7 質問 6 の回答理由
- 質問 8 業界の需要見通し
- 質問 9 質問 8 の回答理由
- 質問 10 業界の販売価格見通し
- 質問 11 業界の雇用状況の見通し
- 質問 12 資金繰りの状況
- 質問 13 質問 12 の回答理由
- 質問 14 「働き方改革」の実施状況
- 質問 15 「働き方改革」実施にあたっての障害
- 質問 16 平成 29 年度の主な従業員の賃金等の状況

3. 調査結果

3-1) 全般的な小山市の景気

(図表 5) 質問 1 小山市の景気の現状(水準)

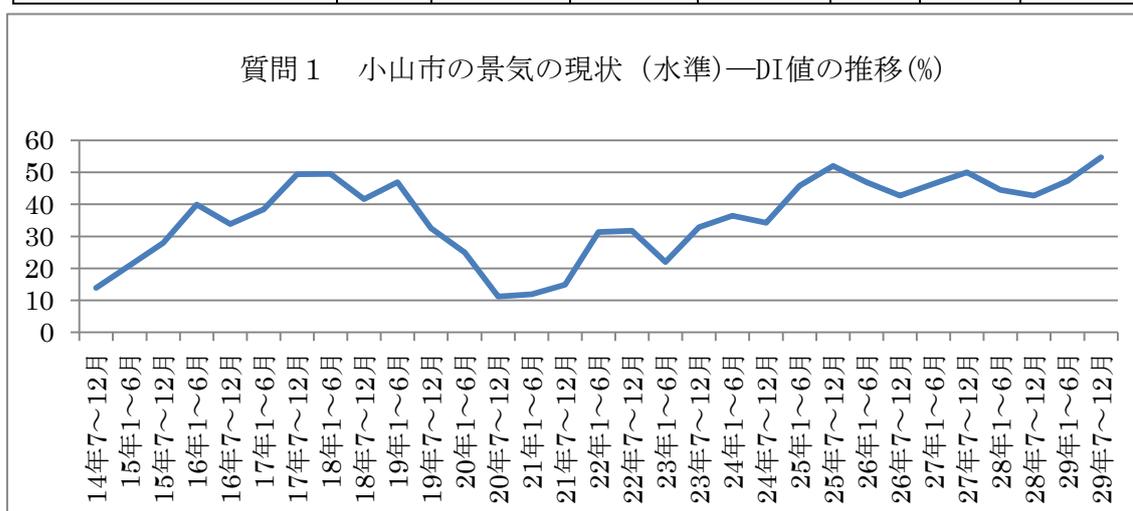


(注) グラフでは「良い」が左側 (以下の横棒グラフも同じ)。

DI 値は回答 (%) の「良い」を 1、「やや良い」を 0.75、「どちらともいえない」を 0.5、「やや悪い」を 0.25、「悪い」を 0 とし、構成比 (無回答を除く) で加重平均したもの。以下の質問でも同じ。

(%)

	良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い	無回答	DI 値
前々回 28年7～12月	0	14.6	47.9	31.3	6.3	0	42.7
前回 29年1～6月	0	17.0	59.6	19.1	4.3	0	47.3
今回 29年7～12月	0	32.6	58.1	4.7	4.7	0	54.7



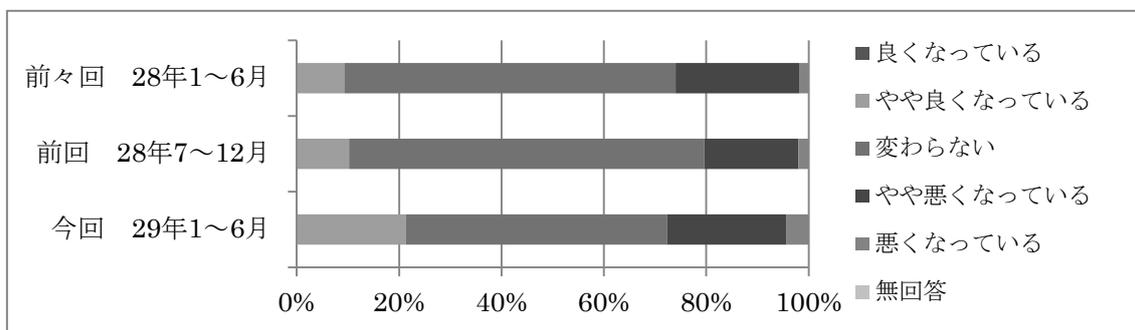
前回調査(平成 29 年 6 月)に比べ、

3%ポイント以上増加: 「やや良い」 (+15.6)

3%ポイント以上減少: 「やや悪い」 (-14.4)

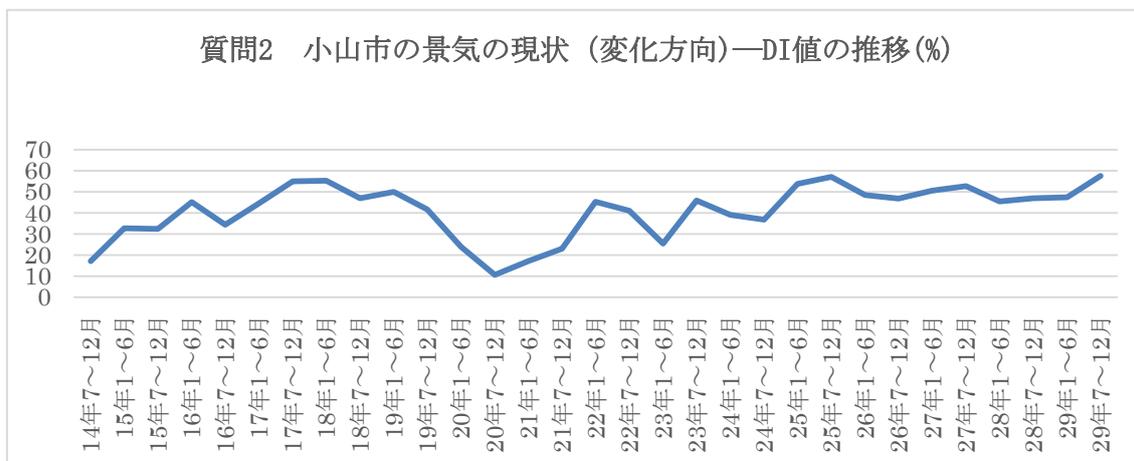
DI 値: 54.7 (+7.4) に上昇 (4 期ぶりに 50%以上)

(図表6) 質問2 小山市の景気の現状 (前半期からの変化方向)



(%)

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	無回答	DI値
前々回 28年 7~12月	0	10.2	69.4	18.4	2.0	0	47.0
前回 29年 1~6月	0	21.3	51.1	23.4	4.3	0	47.4
今回 29年 7~12月	2.3	39.5	46.5	9.3	2.3	0	57.5



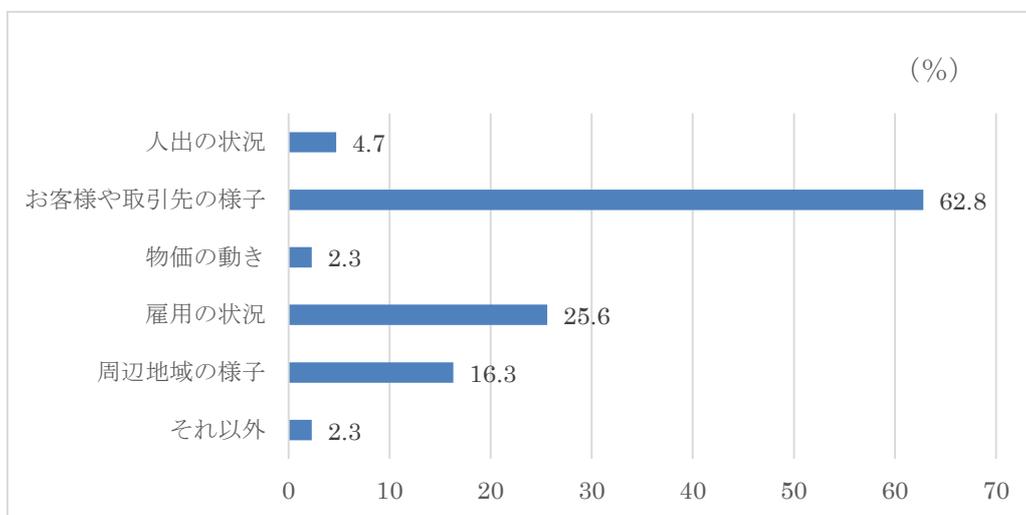
前回調査(平成 29 年 6 月)に比べ、

3%ポイント以上増加:「やや良くなっている」(+18.2)

3%ポイント以上減少:「やや悪くなっている」(-14.1)、「変わらない」(-4.6)

DI 値: 57.5 (+10.1) に上昇 (4 期ぶりに 50%超え)

(図表 7) 質問 3-1 質問 2 の回答の判断理由



質問2	質問3-1 人出の状況	お客様や取引先の様子	物価の動き	雇用の状況	周辺地域の様子	それ以外	無回答
良くなっている	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	2.3	16.3	2.3	18.6	4.7	0.0	0.0
変わらない	0.0	37.2	0.0	4.7	9.3	2.3	0.0
やや悪くなっている	2.3	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0
計	4.7	62.8	2.3	25.6	16.3	2.3	0.0

(注)43社に対する比率(%)、複数回答があるので合計は100%にならない。

質問 3-2

質問 3-1 の具体的な回答内容

「やや良くなっている」:

- ・「若干動きが良くなってきている (お客様や取引先の様子)」
- ・「売上高が上昇トレンドにある企業が見受けられる (お客様や取引先の様子)」など

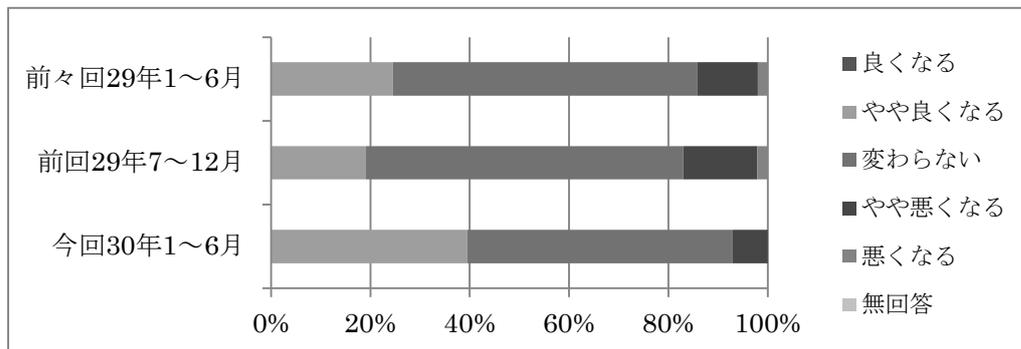
「変わらない」:

- ・「お客様の購買状況に変化がない (お客様や取引先の様子)」など

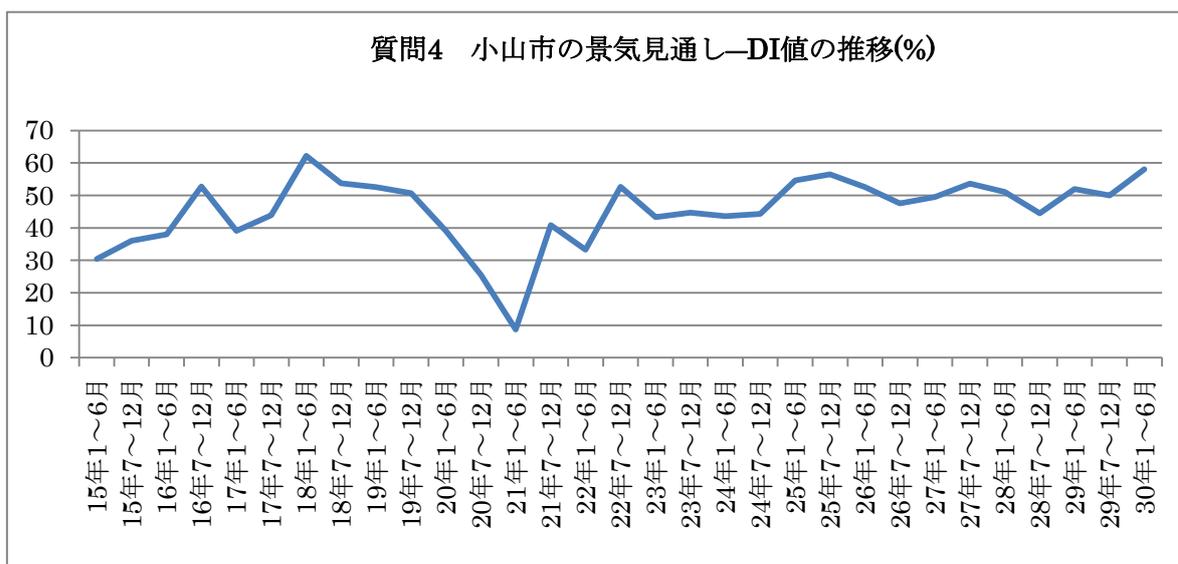
「やや悪くなっている」:

- ・「成約までの時間が長く、成約率も低下している (お客様や取引先の様子)」など

(図表 8) 質問 4 平成 30 年上半期 (1~6 月期) の小山市の景気見通し



見通しの対象時期	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	無回答	DI値
前々回 29年1~6月	0	24.5	61.2	12.2	2.0	0	52.0
前回 29年7~12月	0	19.1	63.8	14.9	2.1	0	50.0
今回 30年1~6月	0	39.5	53.5	7.0	0	0	58.1



前回調査(平成 29 年 6 月)に比べ、

3%ポイント以上増加:「やや良くなる」(+20.4)

3%ポイント以上減少:「変わらない」(-10.3)

「やや悪くなる」(-7.9)

DI 値: 58.1 (+8.1) に上昇 (3 期連続で 50%以上)

質問5 質問4（小山市の景気の先行き見通し）の回答理由

「やや良くなる」：

- ・「更なる日経平均株価の上昇、円安等により、企業・個人の収益も更に増加すると期待できる」
- ・「今の（改善の）状況が引き続くと思われる」など

「変わらない」：

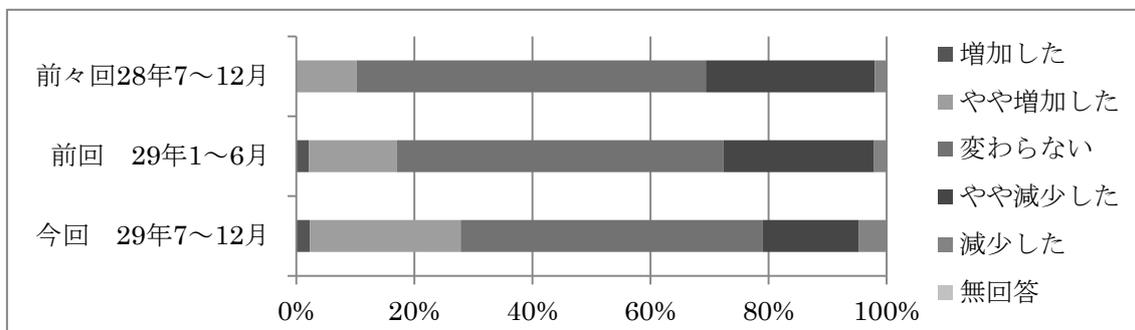
- ・「勢いがないように思う」
- ・「人手不足により、現状レベルの生産に落ち着く」など

「やや悪くなる」：

- ・「売上が増えないのに、原材料等が値上がりしている」など

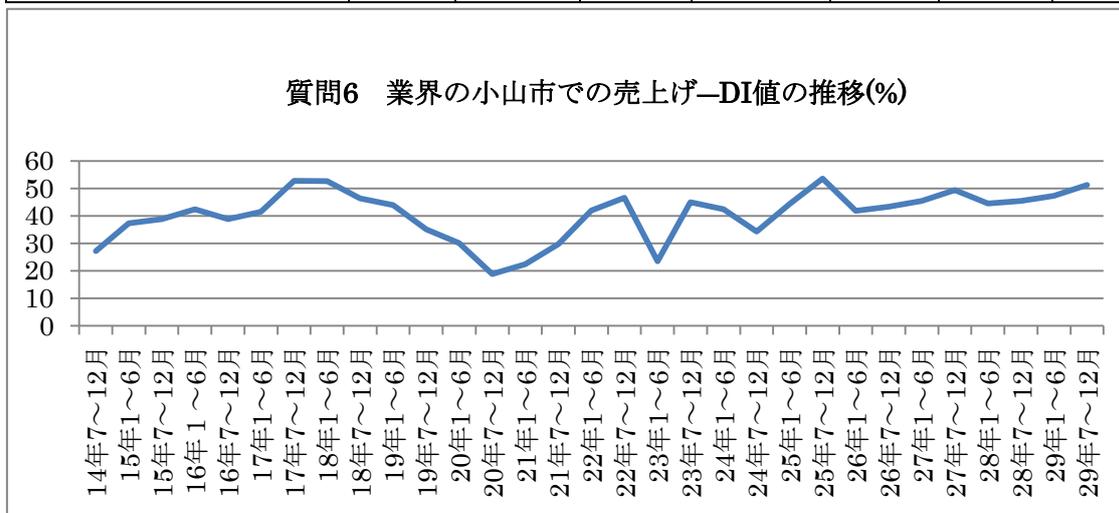
3-2) 小山市における業界の景気

(図表 9) 質問 6 業界の小山市での売上 (売上金額の増減)



(%)

	増加した	やや増加した	変わらない	やや減少した	減少した	無回答	DI値
前々回 28年7~12月	0	10.2	59.2	28.6	2.0	0	45.4
前回 29年1~6月	2.1	14.9	55.3	25.5	2.1	0	47.3
今回 29年7~12月	2.3	25.6	51.2	16.3	4.7	0	51.2



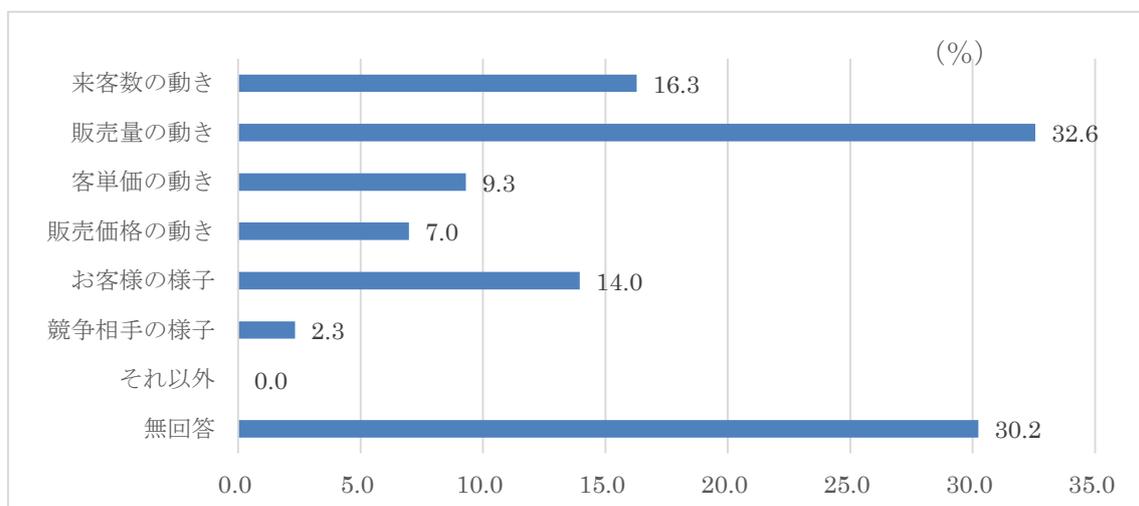
前回調査(平成 29 年 6 月)に比べ、

3%ポイント以上増加:「やや増加した」(+9.5)

3%ポイント以上減少:「やや減少した」(-9.2)、「変わらない」(-4.1)

DI 値: 51.2 (+3.9) に上昇 (8 期ぶりに 50% 超え)

(図表 10) 質問 7 質問 6 の回答理由 (家計向け取引)



(%)

質問 7 質問 6	来客数 の動き	販売量 の動き	客単価 の動き	販売価格 の動き	お客様 の様子	競争相手 の様子	それ 以外	無回答 *1
増加した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
やや増加した	2.3	16.3	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	4.7
変わらない	4.7	11.6	4.7	0.0	11.6	2.3	0.0	18.6
やや減少した	7.0	2.3	2.3	2.3	2.3	0.0	0.0	4.7
減少した	2.3	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
計	16.3	32.6	9.3	7.0	14.0	2.3	0.0	30.2

(注) *1…無回答には家計向け売上のない企業(店舗)が含まれる。

43社に対する比率。複数回答があり、合計は100%にならない。

質問 7-2 具体的な回答 (家計向け取引)

「やや増加した」: 「販売量 (生産量) が増加傾向」 (製造業)

「個人相手であるが契約が増加している」 (通信・放送業)

「変わらない」: 「特に変化していない」 (ホテル・旅行業)

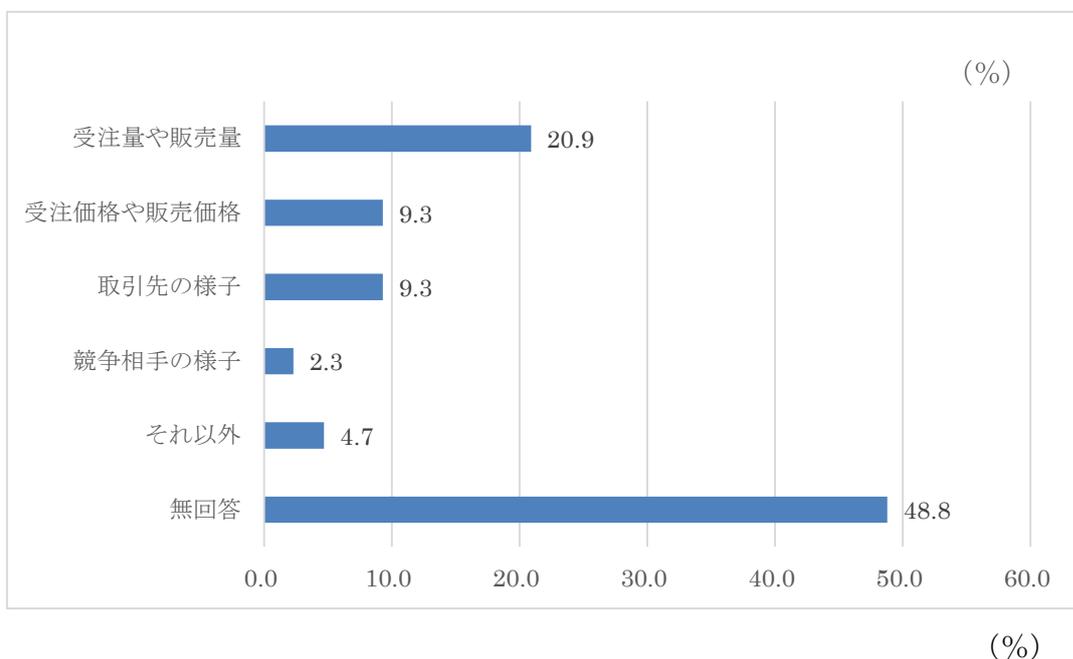
「上期に比べ、下期は受注等の話を聞かない」 (製造業)

「やや減少した」: 「売上が減少した」 (個人向けサービス)

「客数、注文数が減ってきている」 (小売業)

「減少した」: 「来客数が減少している」 (小売業) など

(図表 11) 質問 7 質問 6 の回答理由 (企業向け取引)



質問 7 質問 6	受注量や 販売量	受注価格や 販売価格	取引先の 様子	競争相手 の様子	それ 以外	無回答 * 1
増加した	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや増加した	4.7	0.0	0.0	0.0	2.3	18.6
変わらない	9.3	7.0	9.3	2.3	2.3	20.9
やや減少した	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6
減少した	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3
計	20.9	9.3	9.3	2.3	4.7	53.5

(注) * 1・・・無回答は企業向け取引のない企業(店舗)である。

表の%は 43 社に対する比率。複数回答があり、合計は 100%にならない。

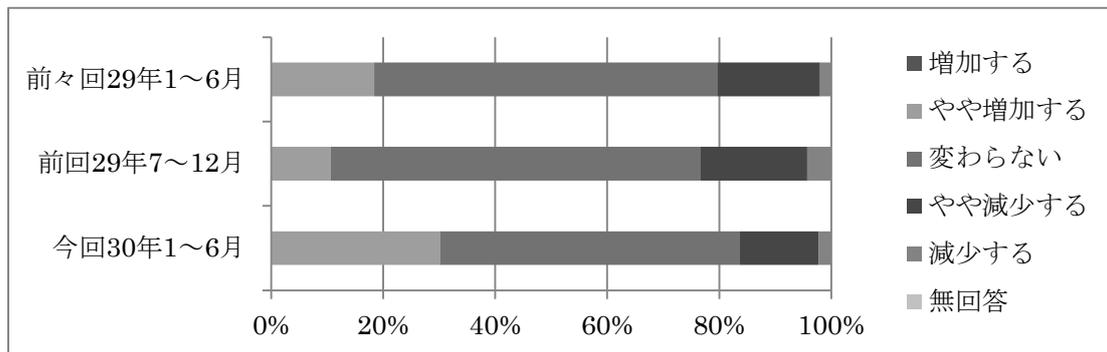
質問 7-2 具体的な回答 (企業向け取引)

「やや増加した」:「生産量が増加した」(製造業)

「変わらない」:「当社の製造高も横ばい」(製造業)、「仕入れ額等も変化がないため」(サービス業) など

「やや減少した」:「震災復興特需が減少した」(製造業)、「販売先の減少や販売額の低下がみられた」(流通業) など

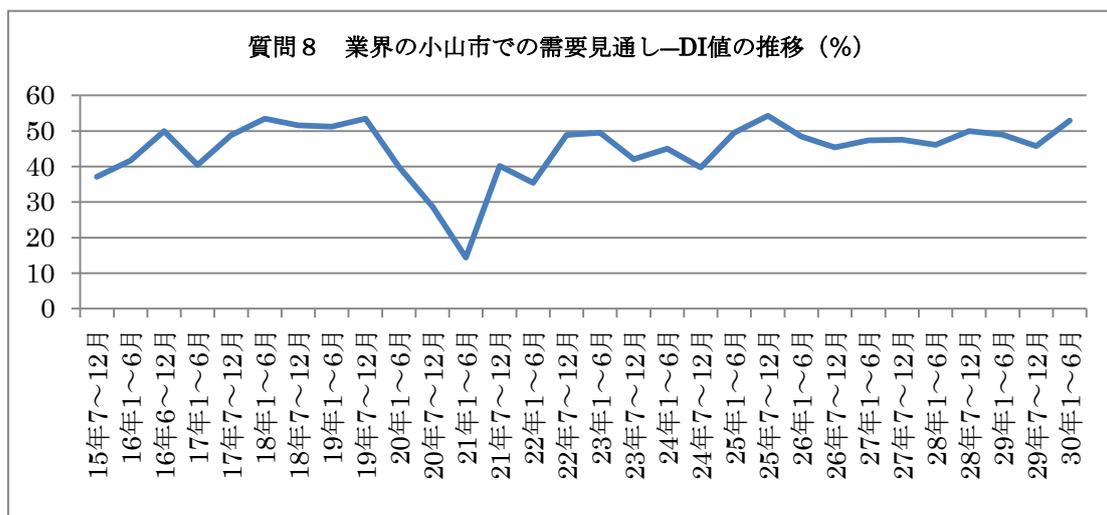
(図表 12) 質問 8 業界の小山市での需要見通し



(%)

見通し対象時期	増加する	やや増加する	変わらない	やや減少する	減少する	無回答	DI値
前々回 29年1～6月	0	18.4	61.2	18.4	2.0	0	49.0
前回 29年7～12月	0	10.6	66.0	19.1	4.3	0	45.7
今回 30年1～6月	0	30.2	53.5	14.0	2.3	0	52.9

(注) 年月は見通し対象時期。



前回調査(平成 29 年 6 月)に比べ、

3%ポイント以上増加：「やや増加する」(+19.6)

3%ポイント以上減少：「変わらない」(-12.5)

「やや減少する」(-5.1)

DI 値：52.9 (+7.2) に上昇 (3 期ぶりの 50%以上)

質問9 質問8の回答理由（自由記入）

「やや増加する」:

- ・「交通網の整備による輸送量の増加」（金融業）
- ・「企業の設備投資が増えて、人の動きが出てくると予想」（ホテル・旅行業）
- ・「デスティネーションキャンペーンによる来県者の増加」（運輸業）など

「変わらない」:

- ・「変わる要素がない」（小売業）
- ・「案件も増加しておらず変わらない」（製造業）
- ・「ネット購入も多いが、従来の取引も堅調」（小売業）など

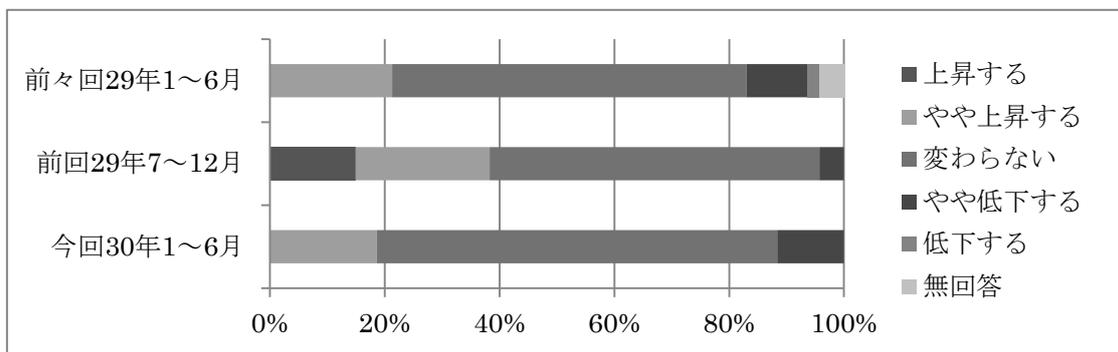
「やや減少する」:

- ・「街の人の流れが変化している」（小売業）
- ・「固定のお客様が減っている」（小売業）など

「減少する」:

- ・「生産量が減少の見込み」（製造業）

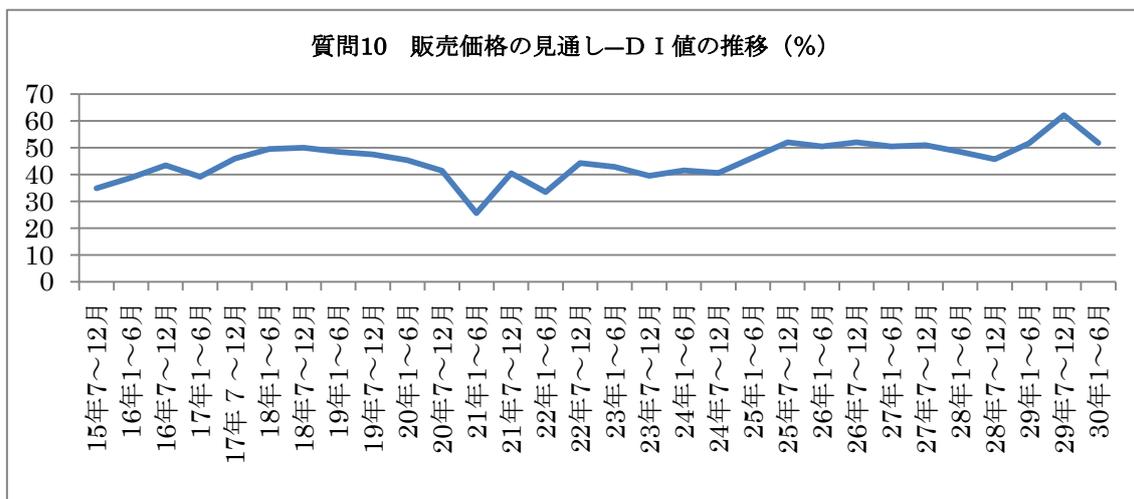
(図表 13) 質問 10 平成 30 年上半期(1~6 月期)の販売価格見通し



(%)

見通し対象時期	上昇する	やや上昇する	変わらない	やや低下する	低下する	無回答	DI値
前々回 29年1~6月	0	21.3	61.7	10.6	2.1	4.3	51.7
前回 29年7~12月	14.9	23.4	57.4	4.3	0	0	62.2
今回 30年1~6月	0	18.6	69.8	11.6	0	0	51.8

(注) 初回はこの見通し調査を行っていない。年月は見通し対象時期。



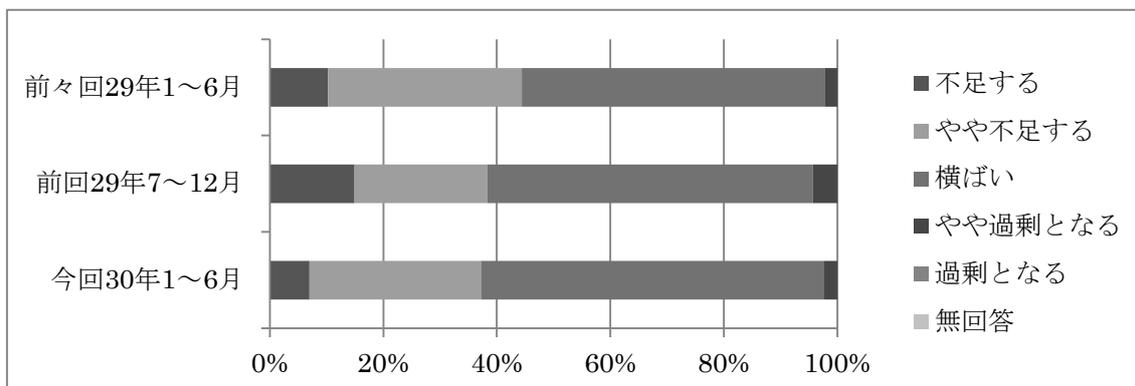
前回調査(平成 29 年 6 月)に比べ、

3%ポイント以上増加：「変わらない」(+12.4)、「やや低下する」(+7.3)

3%ポイント以上減少：「上昇する」(-14.9)、「やや上昇する」(-4.8)

DI 値： 51.8 (-10.4) (前々回(1年前)並みの水準に低下)

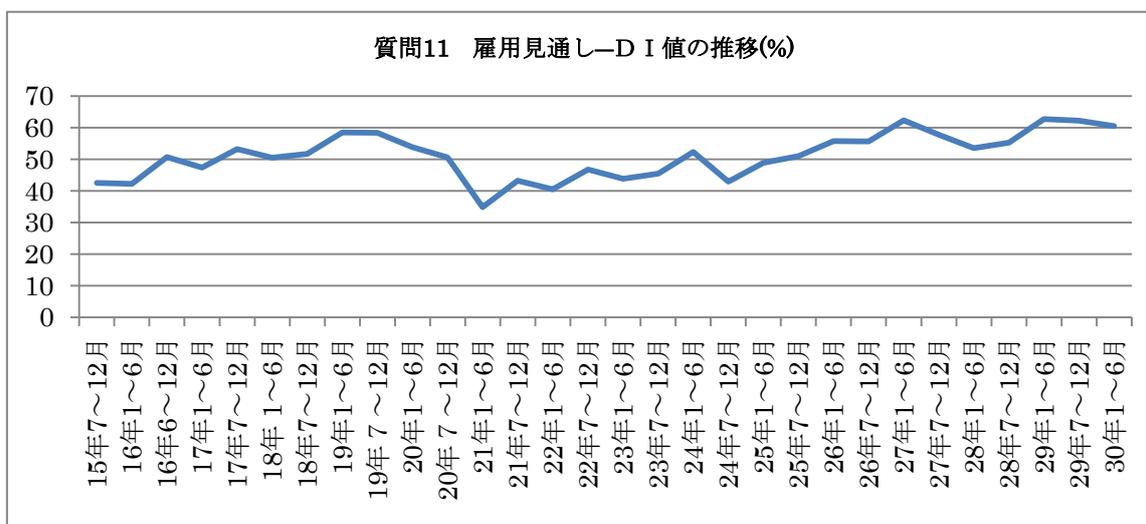
(図表 14) 質問 11 平成 30 年上半期(1~6 月期)の雇用見通し



(%)

従業員が	不足	やや不足	横ばい	やや過剰	過剰	無回答	DI値
前々回 29年1~6月	10.6	34.0	53.2	2.1	0	0	65.7
前回 29年7~12月	14.9	23.4	57.4	4.3	0	0	62.2
今回 30年1~6月	7.0	30.2	60.5	2.3	0	0	60.5

(注) 初回はこの見通し調査を行っていない。年月は見通し対象時期。



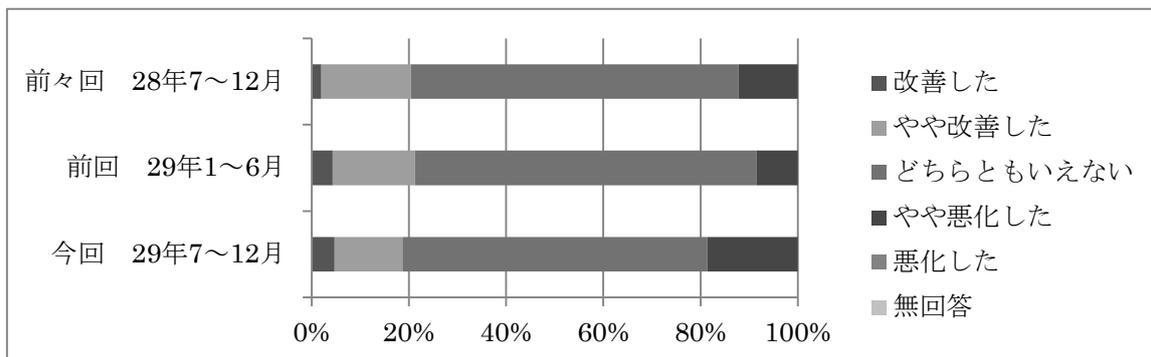
前回調査(平成 29 年 6 月)に比べ、

3%ポイント以上増加: 「やや不足」(+6.8)、「横ばい」(+3.1)

3%ポイント以上減少: 「不足」(-7.9)

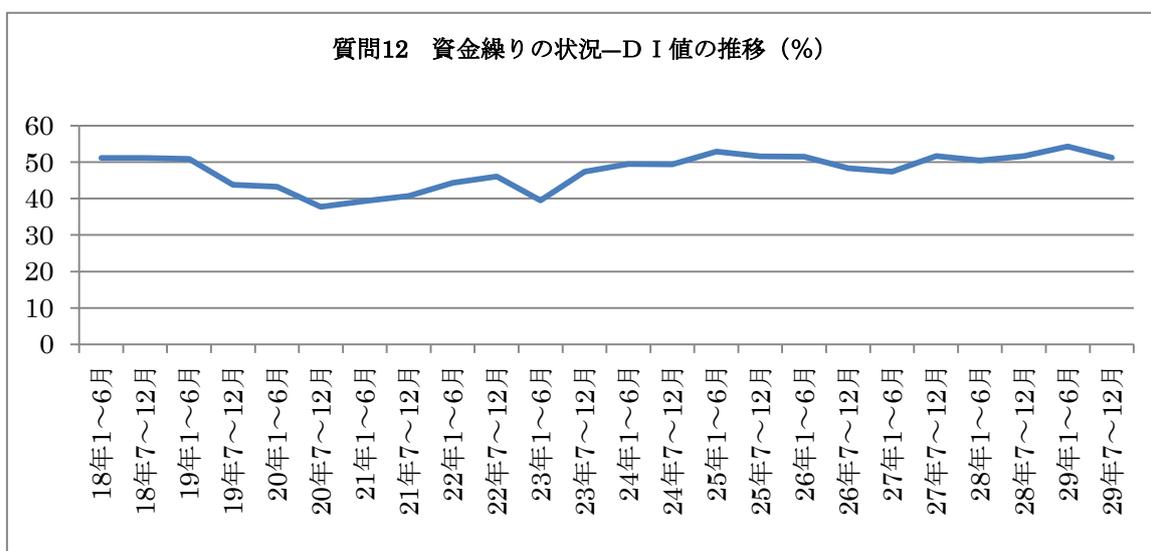
DI 値: 60.5 (-1.7) (3 期連続で 60% を上回る)

(図表 15) 質問 12 平成 29 年下半期 (7~12 月期) 資金繰りの状況



(%)

	改善した	やや改善した	どちらともいえない	やや悪化した	悪化した	無回答	DI値
前々回 28年 7~12 月	2.1	17.0	68.1	12.8	0	0	53.1
前回 29年 1~6 月	4.3	17.0	70.2	8.5	0	0	54.3
今回 29年 7~12 月	4.7	14.0	62.8	18.6	0	0	51.3



(注) この調査項目は第8回(平成18年6月)から調査している。

前回調査(平成29年6月)に比べ、

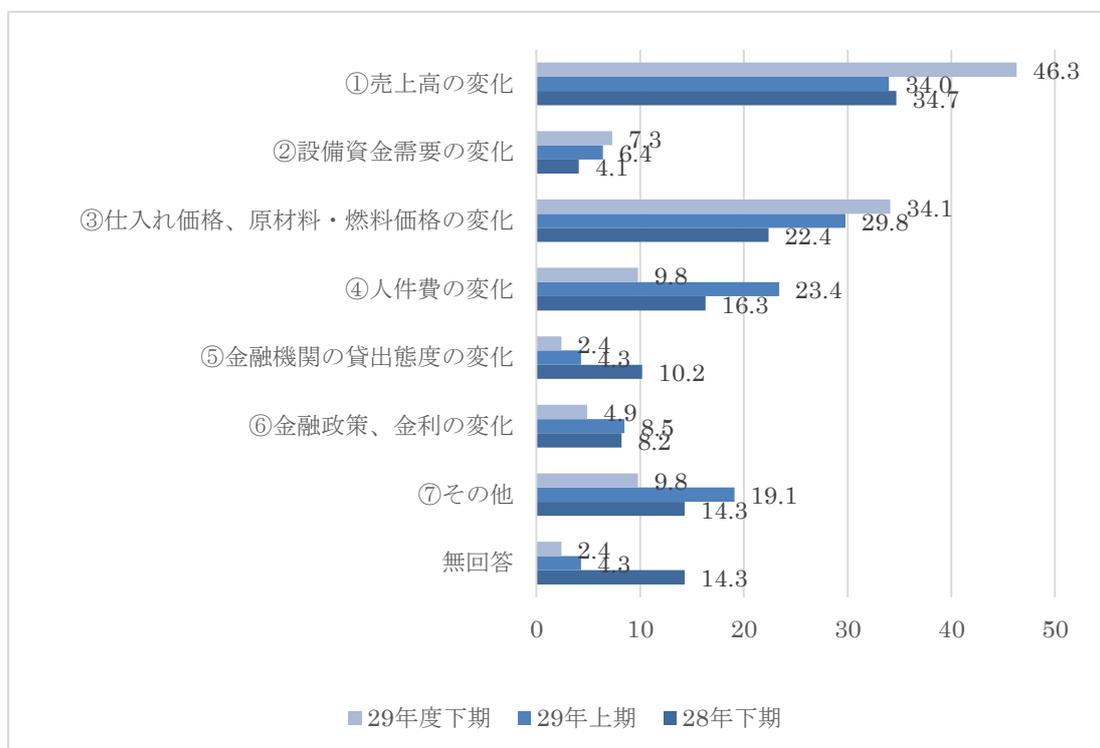
3%ポイント以上増加: 「やや悪化した」(+10.1)

3%ポイント以上減少: 「やや改善した」(-3.0)

「どちらともいえない」(-7.4)

DI値: 51.3 (-3.0) (5期連続で50%以上)

(図表 16) 質問 13 質問 12 の回答理由 (%)



質問 13	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	無回答
質問 12								
改善した	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0
やや改善した	9.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0
どちらともいえない	32.6	4.7	18.6	7.0	0.0	4.7	9.3	2.3
やや悪化した	4.7	0.0	11.6	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
悪化した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	46.5	7.0	32.6	9.3	2.3	7.0	11.6	2.3

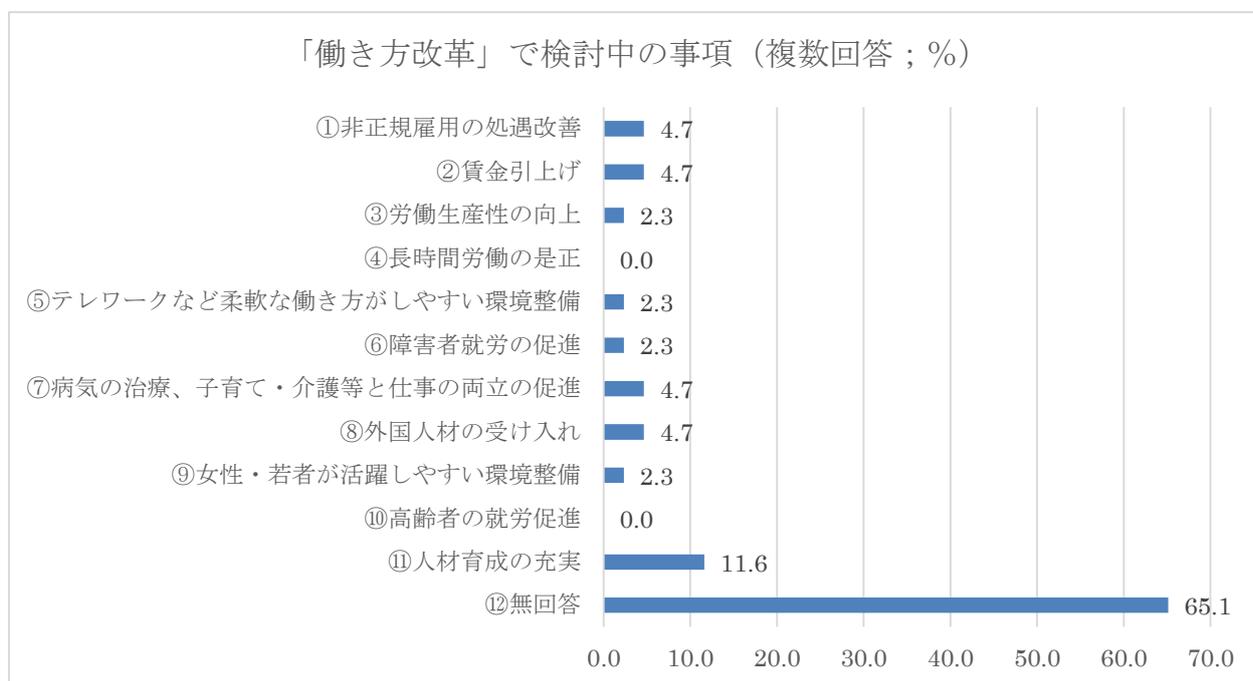
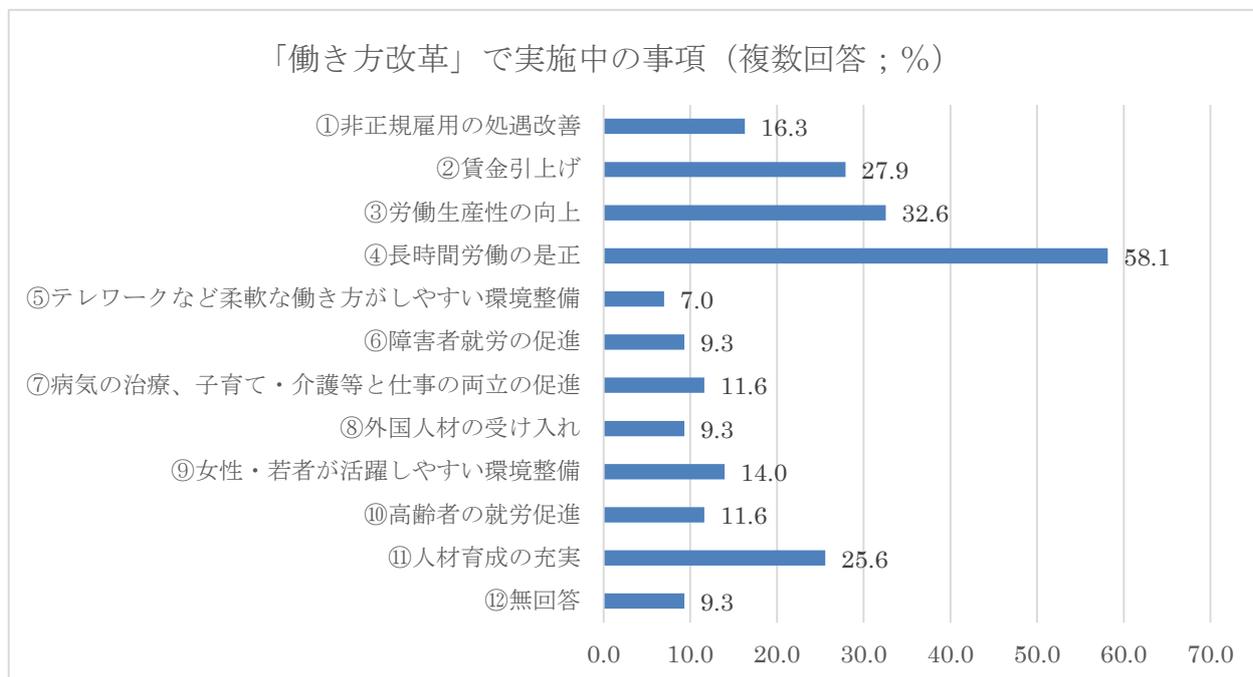
(注) 回収 43 社に対する比率%。複数回答のため、合計は 100 にならない。

前回調査（平成 29 年 6 月）に比べて

3%ポイント以上増加：①「売上高の変化」(+12.5)

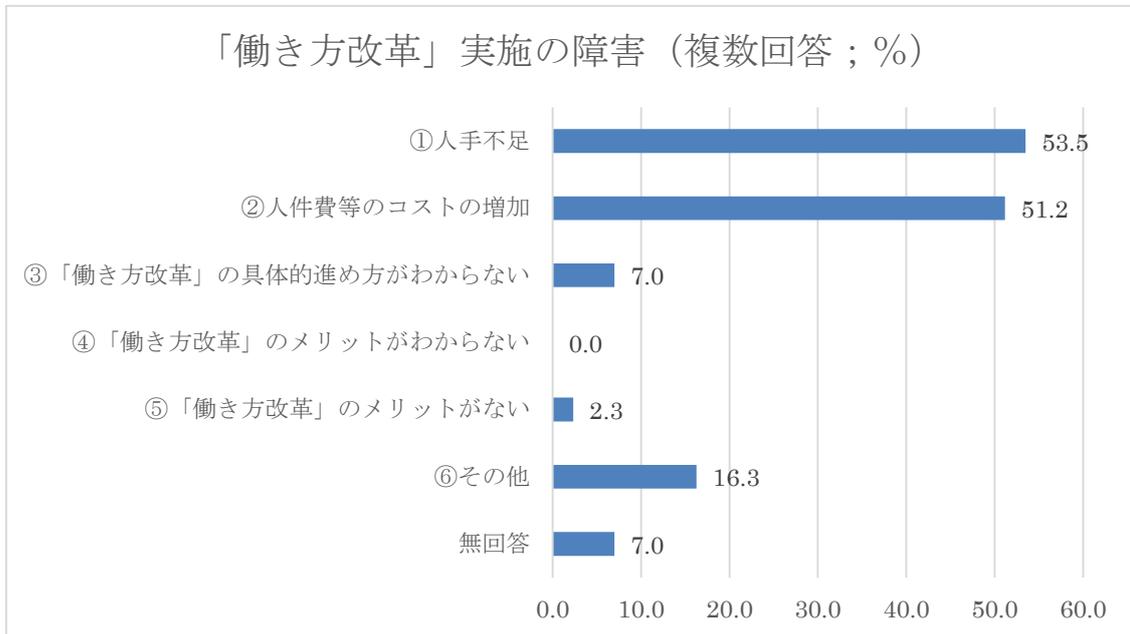
3%ポイント以上減少：④「人件費の変化」(-13.6)、⑦「その他」(-7.5)

(図表 17) 質問 14 「働き方改革」の実施状況



(注) 無回答には「特になし」の回答を含む。

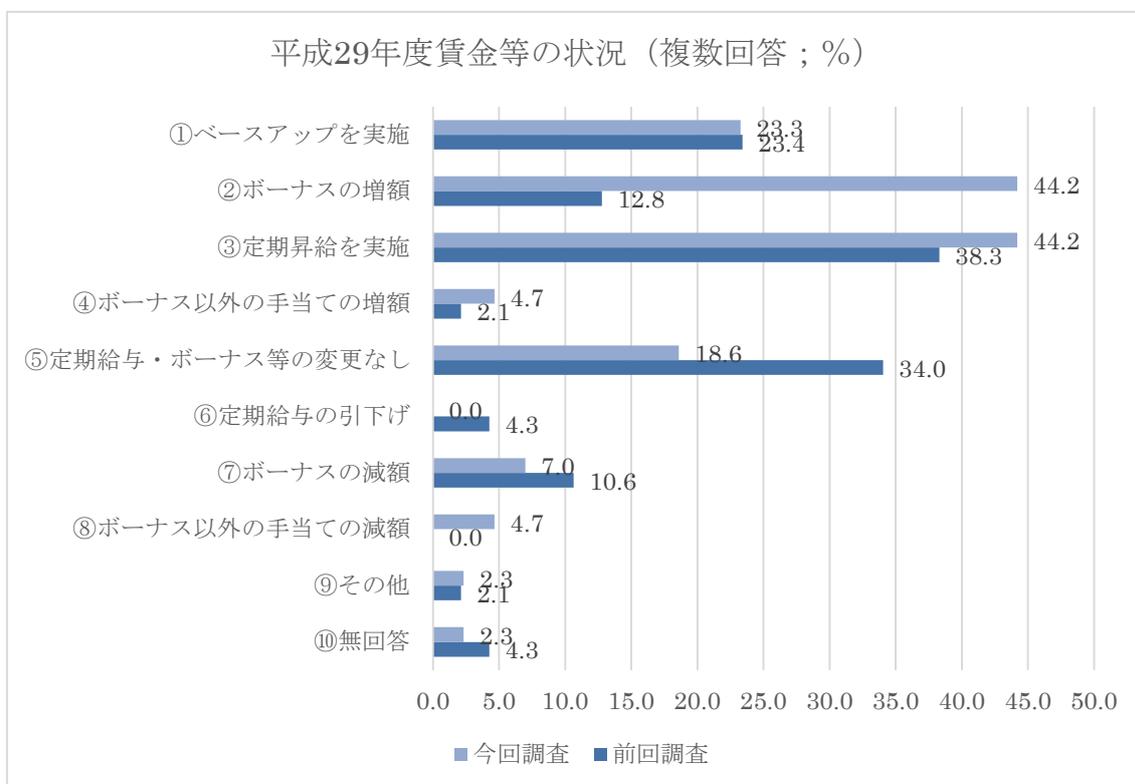
(図表 18) 質問 15 「働き方改革」実施の障害



「⑥その他」の具体的回答内容

- ・月 1 回のミーティングにより意見を聞きその意見について皆で討論（小売業）
- ・行政の入札、人件費が低い（企業向けサービス）
- ・現状で障害はない（企業向けサービス）など

(図表 19) 質問 16 平成 29 年度の賃金等の状況



(注) 回収 43 社に対する比率％。複数回答可のため、合計は 100%にならない。

前回調査（平成 29 年 6 月調査）との比較

(回答割合が 3%ポイント以上増加)

- ②ボーナスの増額 44.2% (+31.4)
- ③定期昇給を実施 44.2% (+5.9)
- ⑧ボーナス以外の手当ての減額 4.7% (+4.7)

(回答割合が 3%ポイント以上減少)

- ⑤定期給与・ボーナス等の変更なし 18.6% (-15.4)
- ⑥定期給与の引下げ 0% (-4.3)
- ⑦ボーナスの減額 7.0% (-3.6)

Ⅱ. 小山市経済動向ヒアリング

平成30年2月14日、白鷗大学ビジネス開発研究所で小山市の経済動向に敏感な代表的業種の7人の方にお集まりいただきヒアリング調査(聞き取り調査)を行った。業種は小売業(スーパーマーケット)、銀行、タクシー、自動車販売、鋼材、ホテル、および小山商工会議所の方々である。また、各業界関係者へのヒアリング調査実施後、同席した白鷗大学経営学部の小笠原教授からコメントがあった。

(全般的な状況等)

小山市の平成29年下半期の景気の現状については、製造業関係を中心に改善してきているとの声が多かったが、消費面では客数の減少が続いているとの声があった。企業間取引について、引き合い等が増加したとの声がある一方、原材料価格の上昇等が懸念されていた。雇用面では、人材確保がますます厳しくなっており、その対応に苦勞している様子がうかがえた。この背景には、景気の改善だけでなく、(小山市は人口減になっていないが)日本全体で人口減少が進んでいることも影響している。平成30年の見通しについては、景気の改善の動きが続くことが期待されているが、1~2月になって株価の乱高下や円高の動きがみられたことなどをふまえ、株式、為替の不安定な動きを懸念する声があった。今回の追加質問した「働き方改革」に関しては、人手不足とも関連して、休みを増やす、有休を取りやすくしたなどの声があった。小山市の施策については、市の助成金は助かっているが、いっそう使いやすさに配慮してほしい、小山市も土日に観光客が集まる施策を期待するといった声があった。

以下は、参加者からの業界についての情報、および、同席した小笠原教授からのコメントのポイントである。

(タクシー)

売上は前年に比べ2%の増収となった。ただ、栃木デスティネーションキャンペーンで外から人が集まることによるマイナス面もある。物価が上がって実質所得が減少すると高齢者は生活が厳しくなる。(当社は福祉事業も行っている。)タクシー業界は乗務員の平均年齢が62歳と高齢化が進んでいる。人手不足で24時間営業できる企業が3社になってしまった。2種免許を無料で取得させることにしても集まらない。給与もアップさせたいが人件費比率が65%の業界なので売上が伸びないなかで給与の引上げは厳しい。観光に関しては、資料館のオープニングセレモニーで人が集まった。2,000本桜を3,000本桜にするなどによって観光地化してはどうか。

(製造業 (鋼材))

製造業は昨年 (平成 29 年) 秋以降引き合いが増加するなど良くなったが、12 月以降ブレーキがかかり、現状では低下してきている。2018 年度は半導体や自動車関連は良い見通しだが、問題は人手不足と鉄材の値上げの影響である。

「働き方改革」については、有休を取りやすくしたが、残業はどうしても特定の人に集中してしまう。人手不足のなか、昨秋人の手当ては何とかできたが、例年より厳しかった。工業団地連絡会では、県知事が各業界で人手不足だと話していた。昨今の株の乱高下や為替の変動は好ましくない。ビジネスを行う上では安定していることが望ましいので、懸念している。市の雇用関連の助成金をいただいて助かっている。ただ、ハローワーク経由だけでは人が集まらないので、それ以外でも助成金が出るよう配慮してほしい。小山市のセミナー派遣に対する助成金は他ではやっていないものであり、ありがたい。

(自動車販売・修理)

ホンダは全国では 104、栃木県では 107 と売上げが伸びた。これは日産、スバルの検査問題の影響であり、秋以降は前年割れも出てきた。小山地域は人口が維持されているが、栃木県内は減少しており、自動車販売にも影響してくる。

電気自動車やエコカー (ハイブリッド、プラグインハイブリッド) については、日産、三菱は電気自動車を製造しているが、トヨタ、ホンダはエコカーである。トヨタは 7 割がハイブリッド、ホンダは半分がハイブリッドである。2020 ~ 2030 年には 3 分の 2 の電動化を目標にしている。2030 年で主力となるハイブリッド、プラグインハイブリッドの CO₂ の発生は電気自動車に劣らず少ない。

「働き方改革」では今年から休日の増加や有休を強制的に取るようにした。人手不足で整備士が確保しにくく、高卒採用で整備士の資格を取るのには 5 年かかる。営業ではディーラー関係は大型店化が進んでいる。これは週休の増加で営業のやり方が訪問から来店に変わったためである。来店型になり、営業で女性の投入を増やしている。オリンピック以降は自動車販売が 20 万 ~ 30 万台減少すると予想されていること、整備・修理に関しては、電気自動車では車検の必要性がなくなること、これらへの対応が将来の課題となる。

(銀行)

日銀のマイナス金利政策の影響で本業での収益性が大きく悪化しており、企業との共通価値増大など持続可能なビジネスモデルの構築に迫られている。資金需要については、個人消費に底堅さが出てきたが、企業は人手不足で先行き見通しにくい。アメリカの金利についても不透明感が強い。金利上昇のペースが落ち着けば、株価の下落も一時的とみている。「働き方改革」については、ト

アップダウンで意識改革を進め、月1回のノー残業デーを週1回にし、原則7時退行とした。その結果、小山支店では9月に残業時間が平均30分短くなった。稼働時間内での業績向上、人材の適正化、業務簡素化・集中化、サテライト化などを進めている。また、人手不足への対応もあって、退職した職員（女性、高齢者）の復職制度を実施している。小山市に対しては、中心市街地（特に小山駅西口）の街づくりに期待している。

（スーパー）

昨年（平成29年）の売上げは前年を2%程度下回った。この原因は客数の減少で、コンビニ、専門店やEコマースに侵食されてきている。コンビニは広くなり、単身者向けの商品が充実してきた。平成30年度もトレンドは変わらないとみている。年末、年初の売上げ数量は増加したが、その後は大雪の影響で落ち込んだ。「働き方改革」では、定年を60歳から65歳にし、パートは70歳まで働けるように制度化したほか、長時間労働是正のための対策として計画外の残業を減らすこと、女性管理職を増やす（2023年度までに管理職の50%まで増やす目標）等の取組みを進めている。小山市にはデマンドバスなどで一層の企業との連携を期待している。

（ビジネスホテル）

平成29年は前年とほぼ同じ稼働状況であった。秋口までは前年を下回ったが、11月の技能五輪で増加し、前年水準とほぼ同じとなった。平成30年は1月、2月と前年を超えているが、見通しは前年並みとみている。ビジネス客中心なので、製造業の景況に依存する。月～金の稼働率は高いが、土日の稼働率の落ち込みが課題である。小山市には土日に観光客が集まる施策を期待したい。最近の特徴として、直前の予約が増加しており、需要が読めない。需要に応じてベテラン等の人材を配置したいが、それができない。「働き方改革」に関しては、人手不足で10人の定員のところ現員は9人しか確保できていないため、休日増などの対応ができない。

（小山商工会議所）

小山商工会議所でも景気動向の調査を行っているが、12月～1月の調査では全業種で売上げが増加している。ただ、原材料価格の上昇で今後悪化する懸念がある。人手不足は特に建設業、福祉関連、飲食業で大きい。「働き方改革」についてはセミナーを開催したが、大企業の子会社などの参加が多く、期待していた中小企業は少なかった。中小企業は人員や体制に余裕がなく対応できないようである。賃金引上げも中小企業は労働分配率が高いので行いにくい。手取

り給与の面では賃上げより社会保険料負担が高まるなか社会保障改革が重要かもしれない。また、中小企業では事業継承をどうするか、技能をいかに伝承するかが大きな課題である。

(小笠原教授)

お話を伺って、業種により差があると感じた。ただ、人手不足は共通の課題だ。小山市の人口はまだ減少に転じていないが、全国的には地区の小学校がなくなるなど地域にとって大きな問題である。タクシー業界の方にお聞きしたいが、人手不足で倒産、廃業が進むなかで地域の足をどう確保するか、自動運転も5～10年で実際に事業化するのは難しい。自動車販売・整備については、電気自動車が普及していくと車検の必要性が低下し、整備士の職種転換や事故の際のメーカー責任の問題などがある。観光、街づくりでももう少し、皆さんのお考えをお聞きしたい。

(参加者からの意見等)

- ・小山市でも、特にJR 小山駅西口に人の流れができるような観光名所やコンベンションホールなどを考えられないか。
- ・小山市の観光を振興し、近隣地域と連携して小山市にも1泊2日の観光客が来るようになることが望まれる。

Ⅲ. まとめ

最近の日本経済の動きを GDP 統計速報（2 次速報）で見ると、平成 29 年（暦年）の名目 GDP 成長率は 1.5%、実質 GDP 成長率 1.7%と名目、実質とも前年の成長率を上回った。これを実質 GDP 成長率の四半期別季節調整済前期比の推移で見ると、平成 29 年 1～3 月 0.5%増、4～6 月 0.6%増、7～9 月 0.6%増、10～12 期 0.4%増とプラス成長が続いている。そのなかで民間消費は天候不順の影響などから平成 29 年 7～9 月に名目、実質とも前期比（季節調整値）で減少したが、10～12 月はどちらも増加した。

こうしたなか、平成 29 年 12 月から平成 30 年 1 月にかけて実施した「小山市景気動向アンケート調査（平成 29 年度第 2 回）」の結果を見ると、平成 29 年下半期の小山市の景気の現状（水準）をきいた質問の回答では、「やや良い」が増加し、「やや悪い」が減少したことなどから、D I 値³では 54.7%と前回調査（平成 29 年 6 月）の 47.3%から上昇し、4 期ぶりに 50%を超えた。一方、景気の変化方向をきいた質問では、平成 29 年下半期（7～12 月期）の景気は、平成 29 年上半期（1～6 月期）と比較して「やや良くなっている」が増加し、「やや悪くなっている」が減少したことなどから、D I 値では 57.5%と前回（47.4%）から上昇し、こちらも 4 期ぶりに 50%を超えた。「やや良くなっている」という回答の理由としては、「若干良くなってきている」、「売上高が上昇トレンドにある企業が見受けられる」などがあがっている。「変わらない」という回答の理由としては、「お客様の購買状況に変化がない」、「やや悪くなっている」という回答の理由としては、「成約までの時間が長く、成約率も低下している」などがあがっている。一方、景気の先行き（一期先の見通し）については、前回調査（平成 29 年 6 月調査）に比べると、「やや良くなる」が増加し、「変わらない」、「やや悪くなる」が減少したことなどから D I 値では 58.1%と前回（50.0%）から上昇し、3 期連続で 50%以上となった。回答の理由としては、「やや良くなる」と回答した企業では、「日経平均株価の上昇、円安等により、企業・個人の収益もさらに増加が期待できる」、「今の状況が引き続くと思われる」などが、「変わらない」と回答した企業では、「勢いがないように思う」、「人手不足により、現状レベルの生産に落ち着く」などがあがっている。一方、「やや悪くなる」と回答した理由では「売上が増えないのに、原材料等が値上がりしている」などがあがっている。

³ 回答（%）の「良い」を 1、「やや良い」を 0.75、「どちらともいえない」を 0.5、「やや悪い」を 0.25、「悪い」を 0 として、構成比で加重平均したもの

自己の企業や業界の売上金額についての回答をみると、平成 29 年下半期（7～12 月期）は平成 29 年上半期（1～6 月期）に比べ「やや増加した」が増加し、「やや減少した」、「変わらない」が減少したことなどから、D I 値は 51.2%と上昇し、8 期ぶりに 50%を超えた。先行きの業界需要見通しの D I 値は 52.9%と前回（45.7%）から上昇し、3 期ぶりに 50%以上となった。

平成 30 年上半期（1～6 月期）の業界の販売価格の見通しについては、平成 29 年下半期（7～12 月期）に比べて、「変わらない」、「やや低下する」が増加し、「上昇する」、「やや上昇する」が減少したことなどから、D I 値では 51.8%と前回（62.2%）から低下したものの、50%を上回った。平成 30 年上半期（1～6 月期）の雇用見通しについては、平成 29 年下半期（7～12 月期）に比べて、「やや不足」、「横ばい」が増加し、「不足」が減少したことなどから D I 値は 60.5%と前回（62.2%）からやや低下したものの、3 期連続で 60%を超えている。なお、資金繰りの状況については、今回調査では D I 値は 51.3%と前回（D I 値 54.3%）からやや低下した。「やや悪化した」理由としては、「仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化」が多くなっている。

また、平成 29 年度の賃金等の状況をみると、前回調査（平成 29 年 6 月）と比べて「ボーナスの増額」、「定期昇給を実施」、「ボーナス以外の手当ての減額」が増加し、「定期給与・ボーナス等の変更なし」は減少した。

今回のアンケート調査で追加質問した「働き方改革」については、実施中の事項として、「長時間労働の是正」が最も多く、次いで「労働生産性の向上」、「賃金引上げ」、「人材育成の充実」となっている。「働き方改革」実施の障害としては、「人手不足」、「人件費等のコストの増加」が多かった。

以上のように、平成 29 年下半期（7～12 月期）の小山市の景況感をみると前回調査に比べ改善がみられ、先行きについても改善が続くとの見方が増加した。ただ、消費面では実質所得が伸びないなかで、依然勢いがあるとは言えない。また、実施中の「働き方改革」としては、6 割弱の企業が「長時間労働の是正」をあげており、次いで、「労働生産性の向上」、「賃金引上げ」、「人材育成の充実」と続いている。働き方を見直し、生産性向上を図ることで賃金引上げを実現し、それが持続的な消費の増加に結び付くことで景気の改善が持続することが期待される。

(参考資料1)

小山市景気動向アンケート調査 調査票 (平成29年度第2回)

(2017年12月現在の状況でお答え下さい。4ページ目までご記入のほどよろしくお願い申し上げます。)

質問1 現在の小山市の景気についての質問です。あなたの日々の仕事やお客様の様子からみて2017年下半期(7~12月期)の景気は良いと思いますか、悪いと思いますか。(水準)

- ①良い ②やや良い ③どちらともいえない ④やや悪い ⑤悪い

質問2 小山市の景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。あなたの日々の仕事やお客様の様子からみて、2017年下半期(7~12月期)の景気は2017年上半期(1~6月期)と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。(方向性)

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない ④やや悪くなっている
⑤悪くなっている

質問3-1 質問2のご回答の理由として、どのような点に着目されましたか。もつとも適当と思われるものを一つ選んでください。「⑥それ以外」の場合は、その理由を()内に記入して下さい。

- ①小山市の人出の状況 ②お客様や取引先の様子(購買態度など)
③物価の動き ④雇用の状況 ⑤周辺地域の様子
⑥それ以外()

質問3-2 質問3-1の回答内容について具体的に説明してください。

質問4 小山市の景気の先行きについての質問です。あなたの日々の仕事やお客様の様子からみて、2018年上半期(1~6月期)の景気は、2017年下半期(7~12月期)と比べて良くなると思いますか、悪くなると思いますか。(将来の方向)

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

質問5 質問4でそのように回答した理由を教えてください。

質問6 貴店（貴社）の売上げ等からみて、貴業界の小山市における2017年下半期（7～12月期）の需要は季節的な要因を除いて、2017年上半期（1～6月期）に比べて売上金額で増加したと思いますか。

- ①増加した ②やや増加した ③変わらない ④やや減少した ⑤減少した

質問7-1 質問6でそのように回答された理由として、もっとも適切と思われるものを一つ選んでください。

（家計消費向け取引の場合）

- ①来客数の動き ②販売量の動き ③客単価の動き ④販売価格の動き
⑤お客様の様子 ⑥競争相手の様子 ⑦それ以外（ ）

（企業向け取引の場合）

- ①受注量や販売量の動き ②受注価格や販売価格の動き ③取引先の様子
④競争相手の様子 ⑤それ以外（ ）

質問7-2 質問7-1の回答内容について具体的に説明してください。

質問8 貴店（貴社）の売上げの動き等からみて、貴業界の小山市における2018年上半期（1～6月期）の需要の見通しをお伺いします。2017年下半期（7～12月期）と比べて、季節的要因を除いて、2018年上半期（1～6月期）の需要は数量的に増加すると思いますか。
（需要の先行き）

- ①増加する ②やや増加する ③変わらない ④やや減少する ⑤減少する

質問9 質問8でそのように回答した理由を教えてください。

質問 10 貴店（貴社）の販売価格の動き等からみて、貴業界の小山市における 2018 年上半期（1～6 月期）の販売価格の見通しをお伺いします。2017 年下半期（7～12 月期）と比べて、2018 年上半期（1～6 月）の販売価格はどうなると思いますか。（価格見通し）

- ①上昇する ②やや上昇する ③変わらない ④やや低下する ⑤低下する

質問 11 貴店（貴社）の雇用（従業員）の状況等からみて、貴業界の小山市における 2018 年上半期（1～6 月期）の雇用状況の見通しをお伺いします。2017 年下半期（7～12 月期）と比べて、2018 年上半期（1～6 月）の雇用状況はどうなると思いますか。（雇用見通し）
従業員が

- ①不足する ②やや不足する ③横ばい ④やや過剰となる ⑤過剰となる

質問 12 貴店（貴社）あるいは貴業界における資金繰りの状況をお伺いします。貴店（貴社）の 2017 年下半期（7～12 月期）における資金繰りは、2017 年上半期（1～6 月期）に比べて改善しましたか、悪化しましたか。

- ①改善した ②やや改善した ③どちらともいえない ④やや悪化した ⑤悪化した

質問 13 質問 12 でそのように回答した理由をあげて下さい。（複数回答可）

- ①売上高の変化 ②設備資金需要の変化 ③仕入れ価格、原材料・燃料価格の変化
④人件費の変化 ⑤金融機関の貸出態度の変化 ⑥金融政策、金利の変化
⑦その他（具体的に、_____）

質問 14 2017 年 3 月に政府が決定した「働き方改革実行計画」で取り上げられている項目のうち、貴店（貴社）で実施中、検討中の項目をそれぞれあげてください（複数回答）。

- ①非正規雇用の処遇改善 ②賃金引上げ ③労働生産性の向上 ④長時間労働の是正
⑤テレワークなど柔軟な働き方がしやすい環境整備 ⑥障害者就労の促進
⑦病気の治療、子育て・介護等と仕事の両立促進 ⑧外国人材の受入れ
⑨女性・若者が活躍しやすい環境整備 ⑩高齢者の就労促進 ⑪人材育成の充実
実施中・・・ _____
検討中・・・ _____

質問 15 「働き方改革」を進めるにあたって障害となっている事項についてあげてください（複数回答可）。

- ①人手不足 ②人件費等のコストの増加 ③「働き方改革」を具体的な進め方がわからない
④「働き方改革」によるメリットがわからない ⑤「働き方改革」のメリットがない
⑥その他（具体的に _____）

質問 16 貴店（貴社）における平成 29 年度の主な従業員の賃金等の状況をお伺いします。

（あてはまるものすべてに○、複数回答）

- ①ベースアップを実施 ②ボーナスの増額 ③定期昇給を実施 ④ボーナス以外の手当ての増額 ⑤定期給与・ボーナス等の変更なし ⑥定期給与の引下げ ⑦ボーナスの減額 ⑧ボーナス以外の手当ての減額 ⑨その他（ ）

〔フェースシート〕

小山市経済動向実態調査以外の目的には一切使用いたしませんので、下記の項目にご記入いただきますようお願い申し上げます。

1. 貴店（貴社）のお名前

2. 貴店（貴社）の業種（小山市にある事業所（店舗）で取り扱っている業種）

3. 貴店（貴社）の従業者数（小山市の事業所（店舗）における従業者）

4. 貴店（貴社）の年間売上げ（小山市の事業所（店舗）における売上げ（概数で結構です））

5. 貴店（貴社）の小山市の事業所（店舗）における売上げのうち、小山市内の企業、消費者からの需要の割合はおよそどのくらいですか。一つ選んで○をつけてください。
①80～100% ②60～80% ③40～60% ④20～40% ⑤0～20%

6. 調査の回答に関する連絡先

（お忙しいところご協力どうもありがとうございました。ご回答いただきました方には、次回調査時に今回の調査結果とともに、些少ながらクオカード（1,000 円）をお送りいたします。）

「小山市経済動向実態調査」 委託元 小山市産業観光部商業観光課
調査受託 白鷗大学ビジネス開発研究所
電話：0285-22-1111（大学・代表）
0285-22-9732（研究所）
FAX：0285-22-8989（大学）
（アンケート調査担当：吉川、鄭）

(参考資料2)

1. 選択回答1～8 (企業番号1～31)

No.	質問1	質問2	質問3	質問4	質問6	質問7		質問8
						家計	企業	
1	3	3	2	4	3	—	6	3
2	3	3	2	4	5	4	2	3
3	2	2	2	2	3	5	3	3
4	4	4	2	4	4	4	—	4
5	3	3	2	3	3	5	3	4
6	3	2	4	3	3	2	1	2
7	2	2	3,4	2	3	—	4	2
8	3	3	2,4,5	3	4	3,5	—	3
9	3	3	2	2	3	5	—	2
10	3	2	4	2	3	—	3	8
11	2	4	2	2	4	2	—	2
12	3	2	1	2	2	—	1	3
13	3	3	2	2	3	3	—	2
14	3	3	2	2	3	—	2	3
15	2	2	2	2	2	2	—	2
16	3	3	2,5	3	2	2	—	3
17	2	2	4,5	3	3	—	1	3
18	3	3	2	3	3	5	—	3
19	3	3	4	3	3	—	3	8
20	2	2	2	2	1	—	1	5
21	3	3	5	3	4	—	1	4
22	3	2	2	2	3	—	1	2
23	2	2	2	3	2	2	—	3
24	3	3	2	3	3	2	2	4
25	2	2	4	3	2	2	5	2
26	5	5	4,5	3	4	1	—	3
27	3	3	2	3	3	5	—	3
28	3	3	2	3	3	3	—	3
29	3	3	2	3	4	—	1	3
30	3	3	5	3	3	2	—	3
31	2	2	5	2	2	—	1	2

1. 選択回答 1～8 (企業番号 32～43)

No.	質問 1	質問 2	質問 3	質問 4	質問 6	質問 7		質問 8
						家計	企業	
32	2	2	4	3	2	2	—	3
33	3	3	2	3	3	1	1	3
34	2	2	2	2	3	—	2	2
35	4	4	2	4	4	1	1	4
36	2	2	2	2	2	2	—	2
37	3	3	2	3	3	2	2	3
38	5	4	1	3	5	1	2	3
39	2	2	4	2	2	2	1	2
40	2	1	2	2	2	—	3	2
41	3	2	4	2	3	—	—	4
42	3	3	2	3	3	3	—	3
43	3	3	6	3	2	4	—	3

1. 選択回答 10～16 (企業番号 1～31)

No.	質問 10	質問 11	質問 12	質問 13	質問 14		質問 15	質問 16
					実施中	検討中		
1	3	4	3	3	—	—	—	8
2	4	3	4	3,4	4,9	—	2	7
3	3	3	2	1	3,11	—	2	2
4	4	3	4	3	4	11	5	5
5	4	3	4	3	4,7,9	11	2	5
6	3	3	3	7	1,2,3,4,6,11	—	1,2	1,2,3
7	2	3	3	3	1,2,3,4,6,7,10,11	9	1,2	1,2,3
8	3	2	4	3	11,4	—	1,5	1,2
9	4	3	3	4,7	1,2,11	—	7	4
10	2	2	1	5,6	1,2,3,4	—	2	1,2,3
11	2	2	3	—	3,4,5,6	8,10,11	1	3,7
12	2	2	4	—	2	—	1	1,2
13	2	3	3	—	2,4	—	2	3
14	3	3	3	3,4	3,4,8	11	2	3
15	3	3	3	1,3	1,4,7,8,11	—	1	5
16	3	3	3	1,3	2,4,8	—	1,2,4	1,2,3
17	3	3	3	1,2,3	3,4,7,10,11	6,5	1,7	1
18	3	3	3	1	4,10,11	—	2	3
19	3	2	3	3	3,4,11	6	1,2	2
20	3	3	2	1	2,3,10,11	1,6	2,3	2,3
21	3	3	2	2	1,4	8	1,2	2,3
22	3	3	3	1	11	2	2	3
23	3	3	2	1	4	—	2	—
24	3	2	3	2	2,3,4	—	1,2	2,5
25	3	3	1	1	2,4,7	—	1	2,3
26	3	2	4	1	3,4	7	1,3	1,2
27	3	3	4	3	—	—	7	9
28	3	3	3	1	2,11	—	1	1,2
29	3	3	3	1	11	—	7	5
30	3	3	3	3	1	—	2	5
31	2	1	4	1,3	—	—	1,2	3

1. 選択回答 10～16 (企業番号 32～43)

No.	質問 10	質問 11	質問 12	質問 13	質問 14		質問 15	質問 16
					実施中	検討中		
32	3	2	3	1	5	3, 11	1, 2	2, 3
33	3	3	3	—	—	—	1	3
34	4	3	3	6	4	—	1	5
35	3	3	3	3, 4	4	7	3	5, 8
36	3	3	3	6	3, 4, 5, 9, 11	—	1	7
37	3	2	2	7	2	—	7	1, 2, 3
38	3	2	3	1	6, 8	2	1	1
39	3	1	2	1	10, 11	1, 2	1	2, 3
40	3	3	3	7	—	—	—	2
41	2	2	3	1, 4	4, 9, 11	—	2	2
42	2	1	3	1	3, 4, 9	—	1	3
43	3	2	3	7	—	—	1, 2	4

2. 記述回答 2・3 (企業番号 1～24)

No.	質問 2	質問 3-1	質問 3-1 選択肢 6 の回答	質問 3-2
1	3	2		私の所は理容業です。最近では低料金の店が増え、そちらに客が流れているようです。
2	3	2		
3	2	2		
4	4	2		街全体に活気がない(昼間)、夕方か夜になると酒場に人は多くいるが。
5	3	2		特に変化なし
6	2	4		雇用全体では求人をしていても厳しく、求人状況(人手不足)から雇用全体が伸びている。
7	2	3, 4		採用が困難(人手不足)、値上げ品目が多い
8	3	2, 4, 5		求人の反響など前期とさほど変化がない為
9	3	2		商品説明した後、買うか買わないかの割合で
10	2	4		優良な人材が集まりにくい
11	4	2		成約までの時間が長く、成約率も低下している
12	2	1		
13	3	2		特に変化はない
14	3	2		
15	2	2		売上が上昇トレンドにある企業が見受けられる
16	3	2, 5		
17	2	4, 5		・派遣社員の離職状況 ・派遣社員の採用難 ・新卒学生の就職状況 ・ショッピングセンター飲食店等の活況さ
18	3	2		
19	3	4		特に新卒の採用については、十分な雇用が出来ていないため
20	2	2		外注取引先の操業度が高い
21	3	5		取引・出入業者より景気の良い企業の話あまり聞かない。
22	2	2		若干動きが良くなってきている。
23	2	2		新規の取引先を開拓しました。
24	3	2		

2. 記述回答 2・3 (企業番号 25～43)

No.	質問 2	質問 3-1	質問 3-1 選択肢 6 の回答	質問 3-2
25	2	4		当社への希望が多いが、内定を出しても他社へ行く人が多い状況である。
26	5	4, 5		競合店の出店（小山マーケット 競合 SM、SC 進出）スタッフを募集してもなかなか応募がない。
27				事前に価格をネットで調べているので高く売れない。
28	3	2		
29	3	2		
30	3	2		日本国内全般に見て暮らし向きは意外と安定しているようにみられる。小山地区も例外ではない。
31	3	5		市内の交通量や商店、飲食店の入り具合など動きが多いと感じるので。
32	2	5		各社の求人状況や人手不足からの判断。
33	2	4		お客様の購買状況に変化がないため。
34	3	2		設備投資の計画を実行に移す話を聞けるようになった。
35	2	2		お取引先の注文回数が減っている。
36	4	2		企業の設備投益が増加傾向にある。
37	2	2		見積内容についてきびしい。
38	3	2		各イベント等に出る人の数が少ない。
39	4	1		求人倍率が上がっている。
40	2	4		工事案件が早期に決まりGWの工事が入っている。
41	1	2		求人してもなかなか来ない。
42	2	4		買い上げ点数、お買い上げ単価が横ばい。
43	3	2	当ホテルの稼働状況	稼働は変わらないが、予約の入り方が遅い。できるだけ出張を控えていると思われる。

2. 記述回答 4・5 (企業番号 1~29)

No.	質問 4	質問 5
1	3	問 4 で答えたとおり。
2	4	
3	2	
4	4	車でのショッピングで駅の周りに人がいない。
5	3	他企業のお客様、取引先との話し合いの中で感じました。
6	3	オリンピック等の大きなイベントを控え、全体的な設備投資が活発になる一方、北朝鮮等の政治不安等もあり、現状とあまり変わらない。
7	2	アベノミクスの本格浸透
8	3	特になし
9	2	願いを込めて
10	2	
11	2	1月~3月の需要期に入るため。
12	2	
13	2	オリンピックの関係で人の出入りが多くなると思われるから。
14	2	経済指数等が良くなっている。
15	2	
16	3	
17	3	所得減税の効果に期待するが、早急には反映されないと考える。
18	3	変化がない
19	3	職種によっての上下があり、全体としては変わらないと思う
20	2	取引先の業況が増収見込み予想のため。
21	3	
22	2	国内外で問題（北朝鮮・中東等）が生じなければ…という前提なら現状の動きが進みそう。
23	3	例年同じような状態で進んでいます。
24	3	
25	3	
26	3	東口への白鷗大移転、マンション建設等予定はあるが、現在の経済状況からみるとあまり回復が見られないと思う。
27	3	
28	3	
29	3	

2. 記述回答 4・5 (企業番号 30～43)

No.	質問 4	質問 5
30	3	日々の暮らしは落ち着いているように思われる。(マスコミの大騒ぎと違って) 変化の特別な要因は見当たらない。
31	2	今の状況が引き続くと思われているので。
32	3	人手不足により、生産ができなくなる。(現状レベルまでの生産に落ち着く)
33	3	
34	2	
35	4	売上が増えないのに、原材料等値上げしている。
36	2	更なる日経平均株価の値上がり、円安等により、企業・個人の投益も更に増加することが期待できる。
37	3	勢いが無い様に思う。
38	3	変わる要素がない。
39	2	JR による栃木デスティネーションキャンペーンの本番の年であるため。
40	2	仕事量の増加、購入資材の価格の推移 (値上がり)
41	2	2017 年がそうであったので。
42	3	所得水準が大きな変化がない。
43	3	製造業が伸びている限りは大きな変動はないと。

2. 記述回答 6・7 (企業番号 1~24)

No.	質問 6	質問 7-1			質問 7-2
		家計	企業	選択肢 5 の回答	
1	3		6		問 7 の回答通り。
2	5	4	2		
3	3	5	3		
4	4	4			西口開発に力を入れてほしい。
5	3	5	3		同じ様な取引が続いている為。
6	3	2	1		1月～3月・7月～9月が良く、4月～6月・10月～12月が苦戦する状況に変わりがない。新しい装備品への傾向が強くなっている。(安全装備等)
7	3		4		競争激化
8	4	3, 5			売上が減少したため。
9	3	5			
10	3		3		ネット販売など、新たなビジネスの台頭により徐々に変化が現れている。
11	4	2			(自動車の) 販売台数が減少した。
12	2		1		
13	3	1			特に変化していない。
14	3		2		
15	2	2			決算における売上高の増加。
16	2	2			
17	3		1		主に公共団体向が中心であるため、変化はありません。
18	3	5			
19	3		3		上期に比べ、下期には受注等の話等聞かない。
20	3		6		生産量が増加。
21	4		1		取引先メーカーの市場動向調査による。
22	3		1		受注や見積もり量が若干増。
23	2	2			学校関係の統合による販売量の増加。
24	3	2	2		売上が安定していない。

2. 記述回答 6・7 (企業番号 25～43)

No.	質問 6	質問 7-1			質問 7-2
		家計	企業	選択肢 5 の回答	
25	2	2	5	通信サービス業として個人が主体	個人相手であるが契約が増加している。
26	4	1			来館客数の減少、特に生鮮食料品、衣料品の落ち込みが多い。少子高齢化の影響もあり、必要以上の商品の見通しが無い。
27	3	5			
28	3	3			
29	4		1		
30	3	2			商店からの購入、ネットでの購入すみわけが落ち着き始めているように思われる。
31	2		1		1～6 月期に比べ 7 月～12 月期、特に 10 月以降は受注が増え、販売増につながった。
32	2	2			販売量（生産量）が増加傾向
33	3	1	1		
34	3		2		金利の下げはとまらない（単価が落ちている）
35	4	1	1		来客、注文数が減ってきている。
36	2	2			リファイナンス案件の増加
37	3	2	2		ぜいたく買いが無いのかな？
38	5	1	2		来客数が減少している
39	2	2	1		
40	2		3		工事着工数の増加
41	3			1 年単位なので	入学状況が売り上げとなるとするならば、4 月でないと結果は出ない。
42	3	3			客単価の伸びが横ばい状態
43	2	4			料金を値上げした。

2. 記述回答 8・9 (企業番号 1~31)

No.	質問 8	質問 9
1	3	低料金の店が増えれば同じ。
2	3	
3	3	
4	4	街の人の流れが変化している
5	4	全体的に景気がよくなっていると言っても小山市は変わらないと思う。
6	2	10~12月がやや減少のため、1~3月で巻き返せる。(要因的にメーカーの社会的不安があったため、買い控えが見られた。)
7	2	需要の増加
8	3	特になし
9	2	願望で。
10	8	
11	2	1~3月の需要期に入るため。
12	3	
13	2	企業の設備投資が増えて、人の動きが出てくると思われるから。
14	3	
15	2	交通網の整備による輸送量の増加。
16	3	
17	3	質問 7-2 に同じ
18	3	上半期と変わらないと思う。
19	8	案件も増加しておらず変わらない。
20	5	生産量が減少の見込み。
21	4	取引先メーカーの市場予想による。
22	2	質問 5、質問 7 の流れから。
23	3	例年同じような状態で進んでいます。
24	4	人の動きが安定していない。
25	2	個人相手であるが現在順調に伸びており、今後も継続が見込まれる。
26	3	SM、SC の出店乱立が目立ち、お客様を取り合っている感じがある。
27	3	
28	3	
29	3	
30	3	ネット購入も多いが、従来の取引も堅調である。
31	2	1~3月は特に受注が増えそうである。

2. 記述回答 8・9 (企業番号 32~43)

No.	質問 8	質問 9
32	3	2017 年下半期の後半の動きが鈍くなっている。
33	3	
34	2	ボリュームは増えるとみている。
35	4	固定のお客様が減っている。
36	2	3~4 月にかけて、進学・マイカーローン等、個人ローン案件の増加が見込まれる為。
37	3	増加する部分と減少する部分がある。
38	3	変わる要素がない。
39	2	デスティネーションキャンペーンによる来県者の増加。
40	2	取引の件数の増加。
41	4	少子化
42	3	所得水準に大きな変化がない。
43	3	質問 5 と同じです。

2. 記述回答 12・13 (企業番号 1～31)

No.	質問 12	質問 13	質問 13
1	3	3	
2	4	3, 4	
3	2	1	
4	4	3	
5	4	3	
6	3	7	在庫が増えている
7	3	3	
8	4	3	
9	3	4, 7	パートさんの栃木県の賃金の最低価格が上がったから
10	1	5, 6	
11	3	1	
12	4	4	
13	3	7	特に大きな変化はない
14	3	3, 4	
15	3	1, 3	
16	3	1, 3	
17	3	1, 2, 3	
18	3	1	
19	3	3	
20	2	1	
21	2	2	
22	3	1	
23	2	1	
24	3	2	
25	1	1	
26	4	1	
27	4	3	
28	3	1	
29	3	3	
30	2	1	
31	4	1, 3	

2. 記述回答 12・13 (企業番号 32~43)

No.	質問 12	質問 13	質問 13
32	3	1	
33	3		
34	3	6	
35	3	3, 4	
36	3	6	
37	2	7	利益率が向上した
38	3	1	
39	2	1	
40	3	7	大型案件がないので横ばい
41	3	1, 4	
42	3	1	
43	3	7	コストの見直し

2. 記述回答 14 (企業番号 1~31)

No.	質問 14			
	実施中		検討中	
1	—		—	
2	4, 9		—	
3	3, 11		—	
4	4		11	
5	4, 7, 9		11	
6	1, 2, 3, 4, 6, 11		—	
7	1, 2, 3, 4, 6, 7, 10, 11		9	
8	11, 4		—	
9	1, 2, 11		—	
10	1, 2, 3, 4		—	
11	3, 4, 5, 6		8, 10, 11	
12	2		—	
13	2, 4		—	
14	3, 4, 8		11	
15	1, 4, 7, 8, 11		—	
16	2, 4, 8		—	
17	3, 4, 7, 10, 11		6, 5	
18	4, 10, 11		—	
19	3, 4, 11		6	
20	2, 3, 10, 11		1, 6	
21	1, 4		8	
22	11		2	
23	4		—	
24	2, 3, 4	労働時間の修正	—	
25	2, 4, 7	賃金引上げ	—	長時間労働の是正、病気の治療等
26	3, 4		7	
27	—	特になし	—	特になし
28	2, 11		—	
29	11		—	
30	1		—	処遇改善を検討中
31	—		—	

2. 記述回答 14 (企業番号 32~43)

No.	質問 14			
	実施中		検討中	
32	5		3, 11	
33	—		—	
34	4		—	
35	4		7	
36	3, 4, 5, 9, 11		—	
37	2		—	
38	6, 8		2	
39	10, 11		1, 2	
40	—		—	
41	4, 9, 11		—	
42	3, 4, 9		—	
43	—	特になし	—	特になし

2. 記述回答 15 (企業番号 1~31)

No.	質問 15	質問 15 選択肢 7 の回答
1	—	
2	2	
3	2	
4	5	
5	2	
6	1, 2	
7	1, 2	
8	1, 5	
9	7	月 1 回のミーティングで意見を聞いている。その時の意見を皆で討論する。
10	2	
11	1	
12	1	
13	2	
14	2	
15	1	
16	1, 2, 4	
17	1, 7	労働生産性のさらなる推進
18	2	
19	1, 2	
20	2, 3	
21	1, 2	
22	2	
23	2	
24	1, 2	
25	1	
26	1, 3	
27	7	
28	1	
29	7	行政の入札、人件費が低い
30	2	
31	1, 2	

2. 記述回答 15 (企業番号 32~43)

No.	質問 15	質問 15 選択肢 7 の回答
32	1, 2	
33	1	
34	1	
35	3	
36	1	
37	7	現状で障害は無い
38	1	
39	1	
40	—	
41	2	時間→人手→お金…結局費用が掛かる
42	1	
43	1, 2	

2. 記述回答 16 (企業番号 1~43)

No.	質問 16	質問 16 選択肢 7 の回答	No.	質問 16	質問 16 選択肢 7 の回答
1	8		23	—	
2	7		24	2, 5	
3	2		25	2, 3	
4	5		26	1, 2	
5	5		27	9	ボーナスは出たことがない
6	1, 2, 3		28	1, 2	
7	1, 2, 3		29	5	
8	1, 2		30	5	
9	4	時給アップ	31	3	
10	1, 2, 3		32	2, 3	
11	3, 7		33	3	
12	1, 2		34	5	
13	3		35	5, 8	
14	3		36	7	
15	5		37	1, 2, 3	
16	1, 2, 3		38	1	
17	1		39	2, 3	
18	3		40	2	
19	2		41	2	
20	2, 3		42	3	
21	2, 3		43	4	
22	3				

(参考資料3)

質問1 小山市の景気の現状(水準) (%)

		良い	やや 良い	どちらとも いえない	やや 悪い	悪い	無回答	DI 値
今回	29年7～12月	0	32.6	58.1	4.7	4.7	0	54.7
前回	29年1～6月	0	17.0	59.6	19.1	4.3	0	47.3
前々回	28年7～12月	0	14.6	47.9	31.3	6.3	0	42.7
第28回	28年1～6月	0	9.3	64.8	20.4	5.6	0	44.5
第27回	27年7～12月	0	21.7	56.5	21.7	0	0	50.0
第26回	27年1～6月	0	22.4	49.0	20.4	8.2	0	46.4
第25回	26年7～12月	0	10.9	50.0	32.6	6.5	0	42.7
第24回	26年1～6月	2.0	16.0	54.0	16.0	8.0	4.0	46.9
第23回	25年7～12月	2.0	28.6	49.0	16.3	4.1	0	52.0
第22回	25年1～6月	0	18.5	48.1	31.5	1.9	0	45.8
第21回	24年7～12月	0	4.1	44.9	34.7	16.3	0	34.2
第20回	24年1～6月	0	14.6	29.2	43.7	12.5	0	36.7
第19回	23年7～12月	1.8	9.2	25.5	45.5	18	0	32.8
第18回	23年1～6月	0	1.9	15.4	50	30.8	1.9	22.0
第17回	22年7～12月	0	6.7	33.3	40	20	0	31.7
第16回	22年1～6月	0	10.4	27.1	39.6	22.9	0	31.3
第15回	21年7～12月	0	2.1	4.2	41.7	52.0	0	14.1
第14回	21年1～6月	0	1.8	1.8	38.6	57.8	0	11.9
第13回	20年7～12月	0	0	4.3	36.2	59.5	0	11.2
第12回	20年1～6月	0	2.2	13.3	66.7	17.8	0	25.0
第11回	19年7～12月	0	0	38.3	53.2	8.5	0	32.5
第10回	19年1～6月	0	23.1	45.2	27.9	3.8	0	46.9
第9回	18年7～12月	0	20.8	35.4	33.3	10.5	0	41.6
第8回	18年1～6月	0	25.5	53.2	14.9	6.4	0	49.5
第7回	17年7～12月	0	28.9	44.4	22.2	4.5	0	49.4
第6回	17年1～6月	0	14.6	29.3	51.0	5.1	0	38.4
第5回	16年7～12月	0	12.5	27.5	42.5	17.5	0	33.8
第4回	16年1～6月	0	16.7	38.1	33.3	11.9	0	39.9
第3回	15年7～12月	0	12.0	18.0	40.0	30.0	0	28.0
第2回	15年1～6月	1.6	0	16.4	44.3	37.7	0	20.9
初回	14年7～12月	0	1.2	7.4	37.0	54.4	0	13.9

質問 2

小山市の景気の現状（変化方向）

（%）

		良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	無回答	DI 値
今回	29年7～12月	2.3	39.5	46.5	9.3	2.3	0	57.5
前回	29年1～6月	0	10.2	69.4	18.4	2.0	0	47.4
前々回	28年7～12月	0	21.3	51.1	23.4	4.3	0	47.0
第28回	28年1～6月	0	9.3	64.8	24.1	1.9	0	45.4
第27回	27年7～12月	0	32.6	45.7	21.7	0	0	52.7
第26回	27年1～6月	2.0	22.5	55.1	16.3	4.1	0	50.5
第25回	26年7～12月	0	19.6	47.8	26.1	4.3	2.2	46.8
第24回	26年1～6月	0	22.0	54.0	20.0	4.0	0	48.5
第23回	25年7～12月	2.0	36.7	51	8.2	2.0	0	57.1
第22回	25年1～6月	1.9	33.3	44.4	18.5	1.9	0	53.7
第21回	24年7～12月	0	4.1	51	32.7	12.2	0	36.8
第20回	24年1～6月	0	16.7	37.5	31.3	14.6	0	39.1
第19回	23年7～12月	3.6	30.9	20	36.4	9.1	0	45.9
第18回	23年1～6月	0	3.8	21.2	48.1	26.9	0	25.5
第17回	22年7～12月	0	15.6	44.4	28.9	11.1	0	41.1
第16回	22年1～6月	0	27.1	33.3	33.3	6.3	0	45.3
第15回	21年7～12月	0	4.2	18.8	41.7	35.3	0	23.0
第14回	21年1～6月	0	1.8	12.3	38.6	47.3	0	17.2
第13回	20年7～12月	0	0	0	42.6	57.4	0	10.7
第12回	20年1～6月	0	2.2	13.3	62.2	22.3	0	23.9
第11回	19年7～12月	0	4.3	32.0	55.3	8.4	0	41.6
第10回	19年1～6月	0	28.8	42.3	28.9	0	0	50.0
第9回	18年7～12月	0	27.1	39.6	27.1	6.2	0	46.9
第8回	18年1～6月	0	40.4	42.6	14.9	2.1	0	55.3
第7回	17年7～12月	0	42.2	37.8	17.8	2.2	0	55.0
第6回	17年1～6月	0	24.4	34.1	36.6	4.9	0	44.5
第5回	16年7～12月	0	10.0	35.0	37.5	17.5	0	34.4
第4回	16年1～6月	0	27.8	38.9	19.4	13.9	0	45.2
第3回	15年7～12月	0	12.0	30.0	34.0	24.0	0	32.5
第2回	15年1～6月	1.6	8.2	29.5	41.0	19.7	0	32.8
初回	14年7～12月	0	1.2	16	33.3	49.5	0	17.2

質問 4

来半期の小山市の景気見通し（今半期との比較）

（％）

見通し対象時期	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	無回答	DI 値
今回 30年1～6月	0	39.5	53.5	7.0	0	0	58.1
前回 29年7～12月	0	19.1	63.8	14.9	2.1	0	50.0
前々回 29年1～6月	0	24.5	61.2	12.2	2.0	0	52.0
第28回 28年7～12月	1.9	11.1	53.7	29.6	3.7	0	44.5
第27回 28年1～6月	0	21.7	60.9	17.4	0	0	51.1
第26回 27年7～12月	0	30.6	55.1	12.3	2.0	0.0	53.6
第25回 27年1～6月	0	26.1	45.7	21.7	4.3	2.2	48.9
第24回 26年7～12月	0	24.0	46.0	26.0	4.0	0	47.5
第23回 26年1～6月	4.1	28.6	42.9	22.4	2.0	0	52.6
第22回 25年7～12月	1.9	37.0	50.0	7.4	3.7	0	56.5
第21回 25年1～6月	2.0	36.7	42.9	14.3	4.1	0	54.6
第20回 24年7～12月	0	20.8	43.8	27.1	8.3	0	44.3
第19回 24年1～6月	0	16.4	47.3	27.3	7.3	1.7	43.6
第18回 23年7～12月	3.8	21.2	38.5	23.1	13.4	0	44.7
第17回 23年1～6月	0	6.7	64.4	24.4	4.5	0	43.3
第16回 22年7～12月	2.1	29.2	52.1	6.3	8.3	2.0	52.7
第15回 22年1～6月	0	8.3	37.5	33.3	20.9	0	33.3
第14回 21年7～12月	1.8	17.5	36.8	27.2	14.9	1.8	40.9
第13回 21年1～6月	0	0	10.6	12.8	74.5	2.1	8.7
第12回 20年7～12月	0	2.2	13.3	68.9	15.6	0	25.5
第11回 20年1～6月	0	8.5	42.6	42.6	4.3	2	39.1
第10回 19年7～12月	1.9	19.2	58.7	20.2	0	0	50.7
第9回 19年1～6月	2.1	25.0	58.3	10.4	4.2	0	52.6
第8回 18年7～12月	0	31.9	51.1	17.0	0	0	53.7
第7回 18年1～6月	2.2	51.1	40	6.7	0	0	62.2
第6回 17年7～12月	0	17.1	48.8	26.8	7.3	0	43.9
第5回 17年1～6月	0	9.8	41.5	43.9	4.8	0	39.1
第4回 16年7～12月	0	33.3	50	11.1	5.6	0	52.8
第3回 16年1～6月	0	18.0	32.0	34.0	16.0	0	38.0
第2回 15年7～12月	1.6	3.3	47.5	32.8	14.8	0	36.0
初回 15年1～6月	0	8.6	30.9	30.9	27.2	2.4	30.4

質問6 業界の小山市での売上（売上金額）の増減（前半期との比較）（%）

		増加 した	やや増加 した	変わら ない	やや減少 した	減少 した	無回答	DI 値
今回	29年7～12月	2.3	25.6	51.2	16.3	4.7	0	51.2
前回	29年1～6月	2.1	14.9	55.3	25.5	2.1	0	47.3
前々回	28年7～12月	0	10.2	59.2	28.6	2.0	0	45.4
第28回	28年1～6月	0	20.4	44.4	24.1	11.1	0	44.5
第27回	27年7～12月	0	23.9	50	21.7	4.3	0	49.4
第26回	27年1～6月	2.0	16.3	47.0	26.5	6.1	2.0	45.4
第25回	26年7～12月	2.2	10.9	47.8	32.6	6.5	0.0	43.3
第24回	26年1～6月	2.0	22.0	30.0	30.0	14.0	2.0	41.8
第23回	25年7～12月	8.2	30.6	36.7	16.3	8.2	0	53.6
第22回	25年1～6月	1.9	18.5	37.0	37.0	3.7	1.9	44.4
第21回	24年7～12月	0	10.2	36.7	30.6	20.4	2.1	34.3
第20回	24年1～6月	2.1	20.8	33.3	29.2	14.6	0	42.4
第19回	23年7～12月	7.3	27.3	18.2	29.1	16.3	1.8	45.0
第18回	23年1～6月	0	3.8	17.3	46.2	30.8	1.9	23.5
第17回	22年7～12月	4.4	20	42.2	24.4	9	0	46.6
第16回	22年1～6月	2.1	20.8	33.3	27.1	14.6	2.1	42.0
第15回	21年7～12月	2.1	4.2	29.2	39.6	24.9	0	29.8
第14回	21年1～6月	1.8	3.5	10.5	49.1	33.3	1.8	22.4
第13回	20年7～12月	0	0	14.9	42.6	38.2	4.3	18.9
第12回	20年1～6月	0	6.7	26.7	46.7	19.9	0	30.1
第11回	19年7～12月	0	6.4	40.4	40.4	12.8	0	35.1
第10回	19年1～6月	1.9	17.3	36.5	36.5	3.9	3.9	43.9
第9回	18年7～12月	4.2	18.8	41.7	25	8.2	2.1	46.4
第8回	18年1～6月	0	34.0	46.8	14.9	4.3	0	52.6
第7回	17年7～12月	2.2	40.0	28.9	20.0	6.7	2.2	52.8
第6回	17年1～6月	0	19.5	31.7	41.5	7.3	0	41.5
第5回	16年7～12月	2.5	15.0	35.0	30.0	17.5	0	38.8
第4回	16年1～6月	2.8	19.4	30.6	38.9	8.3	0	42.4
第3回	15年7～12月	4.0	14.0	28.0	38.0	14.0	2.0	38.8
第2回	15年1～6月	3.4	11.9	30.5	39	15.3	0	37.3
初回	14年7～12月	2.5	8.6	21.0	28.4	37.0	2.5	27.2

質問 8

来半期の小山市での業界需要見通し（今半期との比較）

（％）

見通し対象時期	増加 する	やや増加 する	変わら ない	やや減少 する	減少 する	無回答	DI 値
今回 30年1～6月	0	30.2	53.5	14.0	2.3	0	52.9
前回 29年7～12月	0	10.6	66.0	19.1	4.3	0	45.7
前々回 29年1～6月	0	18.4	61.2	18.4	2.0	0	49.0
第28回 28年7～12月	5.6	22.2	44.4	22.2	5.6	0	50.0
第27回 28年1～6月	0	17.4	50.0	28.3	2.2	0	45.1
第26回 27年7～12月	0	18.4	55.1	24.5	2.0	0	47.5
第25回 27年1～6月	0	23.9	43.5	23.9	6.5	2.2	47.4
第24回 26年7～12月	2.0	18.0	44.0	28.0	6.0	2.0	45.4
第23回 26年1～6月	2.0	26.5	44.9	16.3	10.2	0	48.4
第22回 25年7～12月	1.9	33.3	48.1	9.3	5.5	1.9	54.3
第21回 25年1～6月	2.0	32.7	34.7	18.4	10.2	2.0	49.5
第20回 24年7～12月	0	16.7	39.6	27.1	14.5	2.1	39.9
第19回 24年1～6月	0	18.2	50.9	23.6	7.3	0	45.0
第18回 23年7～12月	3.8	13.5	40.4	28.8	11.6	1.9	42.1
第17回 23年1～6月	4.4	15.6	57.8	17.8	4.4	0	49.5
第16回 22年7～12月	0	27.1	47.9	10.4	10.4	4.2	48.9
第15回 22年1～6月	0	10.4	39.6	31.3	18.7	0	35.4
第14回 21年7～12月	1.8	17.5	31.6	35.1	12.2	1.8	40.2
第13回 21年1～6月	0	2.1	14.9	19.1	59.6	4.3	14.4
第12回 20年7～12月	0	4.4	24.4	53.3	17.9	0	28.8
第11回 20年1～6月	0	10.6	44.7	38.3	6.4	0	39.9
第10回 19年7～12月	1.9	23.1	57.7	13.5	0	3.8	53.5
第9回 19年1～6月	2.1	29.2	39.6	16.7	6.2	6.2	51.2
第8回 18年7～12月	2.1	21.3	59.6	10.6	4.3	2.1	51.6
第7回 18年1～6月	0	35.6	42.2	13.3	4.5	4.4	53.5
第6回 17年7～12月	0	22	51.2	26.8	0	0	48.8
第5回 17年1～6月	2.5	17.5	27.5	40	10	2.5	40.4
第4回 16年7～12月	0	19.4	58.3	13.9	2.8	5.6	50.0
第3回 16年1～6月	2.0	18.0	34.0	30.0	12.0	4.0	41.7
第2回 15年7～12月	0	10.0	43.3	31.7	15.0	0	37.1
初回 15年1～6月	0	8.6	30.9	30.9	27.2	2.4	30.4

質問 10

来半期の販売価格見通し

(%)

見通し対象時期	上昇 する	やや上昇 する	変わら ない	やや低下 する	低下 する	無回答	DI 値
今回 30年1～6月	0	18.6	69.8	11.6	0	0	51.8
前回 29年7～12月	14.9	23.4	57.4	4.3	0	0	62.2
前々回 29年1～6月	0	21.3	61.7	10.6	2.1	4.3	51.7
第28回 28年7～12月	0	9.3	64.8	18.5	3.7	3.7	45.7
第27回 28年1～6月	2.2	13.0	63.0	19.6	2.2	0	48.4
第26回 27年7～12月	0	18.4	65.3	14.3	0	2.0	51.0
第25回 27年1～6月	0	22.9	58.3	12.5	4.2	2.1	50.5
第24回 26年7～12月	2.0	20.0	62.0	12.0	2.0	2.0	52.0
第23回 26年1～6月	4.1	22.4	47.0	20.4	4.1	2.0	50.5
第22回 25年7～12月	0.0	25.9	51.9	14.8	1.8	5.6	52.0
第21回 25年1～6月	2.0	16.3	51	22.5	4.1	4.1	46.3
第20回 24年7～12月	0	10.4	47.9	35.4	6.3	0	40.6
第19回 24年1～6月	0	9.1	50.9	30.9	5.5	3.6	41.5
第18回 23年7～12月	0	7.7	46.2	36.5	5.8	3.8	39.5
第17回 23年1～6月	0	11.1	51.1	35.6	2.2	0	42.8
第16回 22年7～12月	0	12.5	54.2	31.3	2.0	0	44.3
第15回 22年1～6月	0	4.2	39.6	41.7	14.5	0	33.4
第14回 21年7～12月	1.8	10.5	43.9	29.8	10.5	3.5	40.5
第13回 21年1～6月	0	4.3	23.4	40.4	29.8	2.1	25.6
第12回 20年7～12月	4.4	17.8	25.6	43.3	6.7	2.2	41.4
第11回 20年1～6月	2.1	16.0	43.6	29.8	4.2	4.3	45.3
第10回 19年7～12月	1.9	17.3	50.0	26.9	2.0	1.9	47.5
第9回 19年1～6月	2.1	18.8	54.2	16.7	4.1	4.1	49.6
第8回 18年7～12月	0	25.5	46.8	21.3	2.1	4.3	50.0
第7回 18年1～6月	0	26.7	46.7	20.0	4.4	2.2	49.5
第6回 17年7～12月	0	14.6	48.8	29.3	0	7.3	46.0
第5回 17年1～6月	0	8.1	45.9	40.5	5.5	0	39.2
第4回 16年7～12月	0	8.3	61.1	22.2	5.6	2.8	43.5
第3回 16年1～6月	0	12.0	38.0	40.0	6.0	4.0	38.8
第2回 15年7～12月	0	8.6	32.8	48.3	10.3	0	34.9

(注) 初回は来半期価格見通しを調査していない。

質問 11

業界雇用見通し

(%)

従業員が 見通し対象時期	不足する	やや不足 する	横ばい	やや過剰 となる	過剰と なる	無回答	DI 値
今回 30年1～6月	7.0	30.2	60.5	2.3	0	0	60.5
前回 29年7～12月	14.9	23.4	57.4	4.3	0	0	62.2
前々回 29年1～6月	10.6	34.0	53.2	2.1	0	0	65.7
第28回 28年7～12月	3.7	18.5	70.4	1.9	1.9	3.7	55.3
第27回 28年1～6月	0	26.2	64.3	7.1	2.4	0	53.6
第26回 27年7～12月	6.1	22.5	65.3	4.1	0	2.0	57.8
第25回 27年1～6月	8.3	33.3	54.2	2.1	2.1	0	62.3
第24回 26年7～12月	0	28.6	67.4	2.0	2.0	0	55.7
第23回 26年1～6月	2.0	26.5	59.2	8.2	0	4.1	55.8
第22回 25年7～12月	0	11.1	77.8	7.4	0	3.7	51.0
第21回 25年1～6月	0	14.3	67.3	14.3	2.1	2.0	48.9
第20回 24年7～12月	0	6.3	62.5	20.8	6.3	4.1	43.0
第19回 24年1～6月	1.8	18.2	63.6	9.1	1.8	5.5	52.4
第18回 23年7～12月	0	9.6	61.5	23.1	2.0	3.8	45.5
第17回 23年1～6月	0	6.7	64.4	26.7	2.2	0	43.9
第16回 22年7～12月	2.1	8.3	66.7	12.5	6.2	4.2	46.8
第15回 22年1～6月	2.1	2.1	54.2	35.4	4.1	2.1	40.5
第14回 21年7～12月	0	7.0	56.1	24.6	3.5	8.8	43.3
第13回 21年1～6月	4.3	2.1	34.0	36.2	14.9	8.5	34.9
第12回 20年7～12月	0	11.1	80.0	8.9	0	0	50.6
第11回 20年1～6月	2.1	17.0	70.2	6.4	0	4.3	53.9
第10回 19年7～12月	3.8	26.9	63.5	1.9	0	3.9	58.4
第9回 19年1～6月	8.3	22.9	52.1	8.3	0	8.4	58.5
第8回 18年7～12月	2.1	21.3	53.2	14.9	2.1	6.4	51.7
第7回 18年1～6月	0	13.3	73.3	6.7	2.3	4.4	50.5
第6回 17年7～12月	0	22.0	61.0	9.8	0	7.2	53.3
第5回 17年1～6月	5.0	5.0	65.0	20	2.5	2.5	47.4
第4回 16年7～12月	0	16.7	72.2	8.3	2.8	0	50.7
第3回 16年1～6月	0	8.0	56.0	30.0	4.0	2.0	42.3
第2回 15年7～12月	0	8.8	57.9	28.1	5.2	0	42.6

(注) 初回は来半期雇用見通しを調査していない。

質問 12

資金繰りの状況 (前半期との比較)

(%)

		改善した	やや改善 した	どちらとも いえない	やや悪化 した	悪化した	無回答	DI 値
今回	29年7～12月	4.7	14.0	62.8	19.6	0	0	51.3
前回	29年1～6月	4.3	17.0	70.2	8.5	0	0	54.3
前々回	28年7～12月	2.1	17.0	68.1	12.8	0	0	53.1
第28回	28年1～6月	7.4	9.3	61.1	18.5	1.9	1.9	50.5
第27回	27年7～12月	4.3	10.9	69.6	13.0	2.0	2.2	51.7
第26回	27年1～6月	2.0	6.2	71.4	16.4	2.0	2.0	47.4
第25回	26年7～12月	2.1	10.4	64.6	20.8	0	2.1	48.4
第24回	26年1～6月	4.0	20.0	56.0	18.0	2.0	0	51.5
第23回	25年7～12月	4.1	16.3	59.2	18.4	0	2.0	51.6
第22回	25年1～6月	3.7	22.2	51.9	18.5	0	3.7	52.9
第21回	24年7～12月	6.1	16.3	53.1	14.3	8.2	2.0	49.4
第20回	24年1～6月	2.1	18.8	58.3	8.3	8.3	4.2	49.5
第19回	23年7～12月	9.1	7.3	50.0	20.9	7.2	5.5	47.4
第18回	23年1～6月	0	9.6	48.1	26.9	11.6	3.8	39.5
第17回	22年7～12月	0	17.8	55.6	15.6	8.8	2.2	46.1
第16回	22年1～6月	4.2	8.3	54.2	27.1	6.2	0	44.3
第15回	21年7～12月	2.1	4.2	62.5	16.7	14.5	0	40.7
第14回	21年1～6月	3.5	10.5	33.3	36.8	10.6	5.3	39.3
第13回	20年7～12月	2.1	6.4	44.7	34.0	12.8	0	37.8
第12回	20年1～6月	0	13.3	48.9	35.6	2.2	0	0.0
第11回	19年7～12月	4.3	8.5	46.8	27.7	6.3	6.4	43.8
第10回	19年1～6月	3.8	17.3	53.8	21.2	0.0	3.9	50.9
第9回	18年7～12月	6.3	16.7	54.2	12.5	6.1	4.2	51.2
第8回	18年1～6月	0	21.3	59.6	12.8	2.0	4.3	51.2

(注) 第8回から調査